

第 5 回 上田市公共交通活性化協議会 資料

目次

1. 連携計画による平成 21 年度事業一覧	1
2. 平成 21 年度各事業事後評価と見直し策	2
2 - 1. 事後評価のための調査方法	2
2 - 2. 乗り継ぎ情報提供表示板及びバスマップの作成（平成 20 年度実施事業）	3
2 - 3. 上田市街地循環バスの事後評価	4
2 - 4. 上田市街地循環バスの見直し策（案）	14
2 - 5. 丸子地域循環バスの事後評価（平成 22 年 1 月 4 日以前）	15
2 - 6. 丸子地域循環バスの見直し策	18
2 - 7. 上田市循環バス共通回数券の発行	22
2 - 8. バスに乗って残していくための目標と見直し基準（案）	23
3. 平成 22 年度実施事業について	30
3 - 1. 事業概要	30
3 - 2. 傍陽線本原地区迂回実証運行	31
3 - 3. オレンジバスの運行ルート変更	33
3 - 4. 運行改正に伴う周知 P R 策	34

平成 22 年 2 月 23 日

上田市公共交通活性化協議会

1. 連携計画による平成 21 年度事業一覧

上田市では平成 19 年度に「上田市地域公共交通総合連携計画」を策定した。平成 21 年度においては以下に示す事業を計画し実施した。その取組状況を一覧表で下記に示す。

事業	事業内容	取組状況
事業 1 . 上田市街地循環バスの実証運行の継続と見直し策の検討	平成20年10月20日より実証運行を行ってきたが、より利便性を高め、効率の良い運行への見直し策を検討し、22年度より新運行での実証運行を行う。	見直し策を検討
事業 2 . 丸子地域循環バスの見直し策の検討と実証運行の継続	平成20年10月20日より実証運行を行ってきたが、より利便性を高め、効率の良い運行への見直し策を検討し、新たな運行形態で実証運行を行う。	平成22年1月4日より新運行での実証運行開始
事業 3 . 周知 P R 策及び利用促進策の検討と実施	上田市街地循環バスと丸子地域循環バス共通で使える回数券を検討	平成22年1月4日より発売開始
	上田市街地循環バスにおいて「日常生活」「観光」といった目的別での利用方法を紹介したパンフレットを検討	来年度の新運行での実証運行開始に向けて検討継続
事業 4 . バス運行に対する目標値と見直し基準の作成	昨年度「目標と基準」の素案を検討してきたが、今年度は素案をもとに更に具体的な「目標と基準」を検討した。	検討中 策定後は地元住民との協議開始

2.平成 21 年度各事業事後評価と見直し策

本章では、上田市街地循環バス、丸子地域循環バスについて利用状況と利用者の声から事後評価を行い、その結果をまとめる。また、見直しを検討した事業は見直し策を示す。

2 - 1.事後評価のための調査方法

以下に調査方法をまとめる。なお、調査の対象は上田市街地循環バス、丸子地域循環バスである。

利用者数調査

毎日利用者数調査

- ・乗務員が毎日各便の利用者数をカウントする。

バス乗降客数調査

- ・日時：第 1 回 平成 20 年 11 月 5 日（水）
第 2 回 平成 20 年 12 月 10 日（水）
第 3 回 平成 21 年 2 月 4 日（水）
第 4 回 平成 21 年 7 月 29 日（水）(丸子地域循環バス)
平成 21 年 9 月 2 日（水）(上田市街地循環バス)
第 5 回 平成 21 年 11 月 27 日（金）
第 6 回 平成 21 年 12 月 14 日（月）
第 7 回 平成 22 年 1 月 21 日（木）(丸子地域循環バスは見直し策での運行)
第 8 回 平成 22 年 2 月 8 日（月）

- ・調査日 1 日の運行便全便に乗り込み、各バス停の乗降客数を調査する。

バス利用者ヒアリング調査

- ・日時：バス乗降客数調査と同日
- ・調査日 1 日の運行便全便に乗り込み、利用者に直接ヒアリング調査する。

【ヒアリング項目】

- ・利用者属性
- ・循環バス利用頻度
- ・循環バスの利用目的
- ・目的地
- ・利用バス停（乗車・下車）
- ・ポケット時刻表類の認知度と評価（平成 21 年度調査のみ）
- ・上田駅・大屋駅の乗り継ぎ案内看板の認知度と評価（平成 21 年度調査のみ）
- ・循環バスの満足度
- ・循環バスに対する不満点
- ・循環バス共通回数券の認知度、利用度、不満点（第 7・8 回調査のみ）

2 - 2. 乗り継ぎ情報提供表示板及びバスマップの作成（平成 20 年度実施事業）

(1) 乗り継ぎ情報提供表示板

事業概要

乗り継ぎ情報提供表示板

市内の主要な交通結節点である「上田駅」「大屋駅」に情報提供板を設置した。市内のバス路線図及び時刻表を掲示し、駅に降り立った人への上田市公共交通の情報を提供するものである。

上田駅の情報提供板

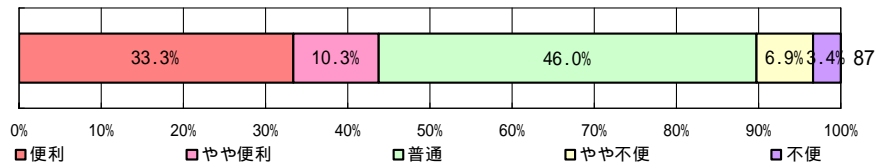


大屋駅の情報提供板



事後評価

乗り継ぎ情報提供表示板に対しては約 40%の人が「便利・やや便利」と答えている。現地では駅を降り立った人の中に立ち止まって情報板を見る人もおり、役割は果たしている。



調査結果より

(2) バスマップの事業概要

事業概要

バスマップ

市民へのバスについての情報提供策として、壁に貼れる A 2 版の路線図・時刻表と持ち運び出来るポケット版バスマップを作成した。

A 2 版は路線図、時刻表セットで全戸配布、ポケット時刻表は観光案内所、地区の公民館、高齢者福祉センターなどで配布。

ポケット時刻表

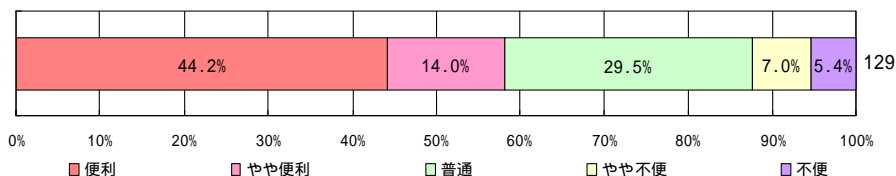


A 2 版バスマップ



事後評価

ポケット時刻表類に対しては約 60%の人が「便利・やや便利」と回答。利用者の中には持参している人もおり、「実施して欲しい事業の一つ」であったと言える。



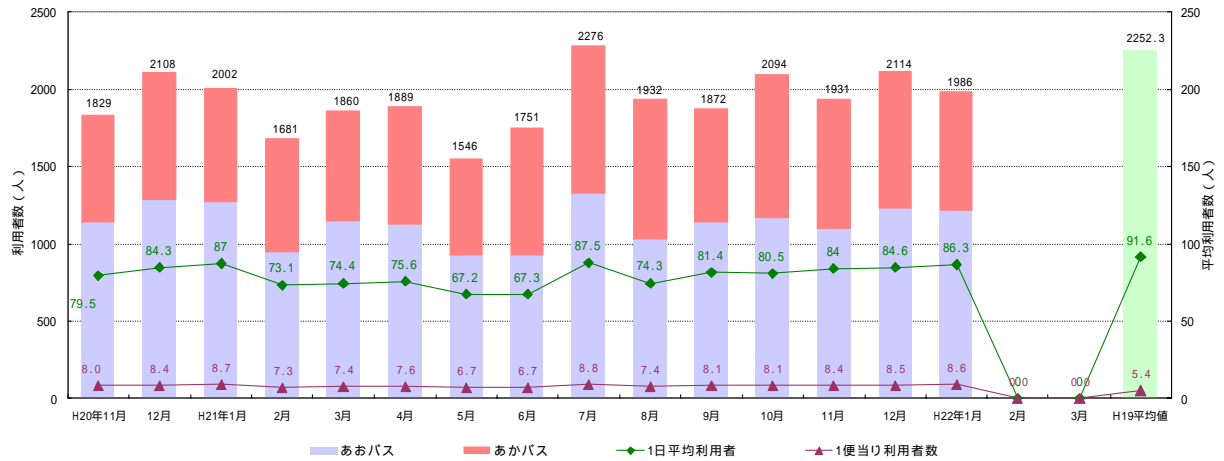
結果より

2 - 3. 上田市街地循環バスの事後評価

(1) 利用者数から見た事後評価

月別利用者数の推移

平成 21 年 2 月、5 月、6 月は利用が低迷したが 6 月より回復傾向である。しかし、平成 19 年月平均値 2252.3 人には達していない。



毎日利用者数調査

期間利用者数と運行経費の旧運行、新運行との比較

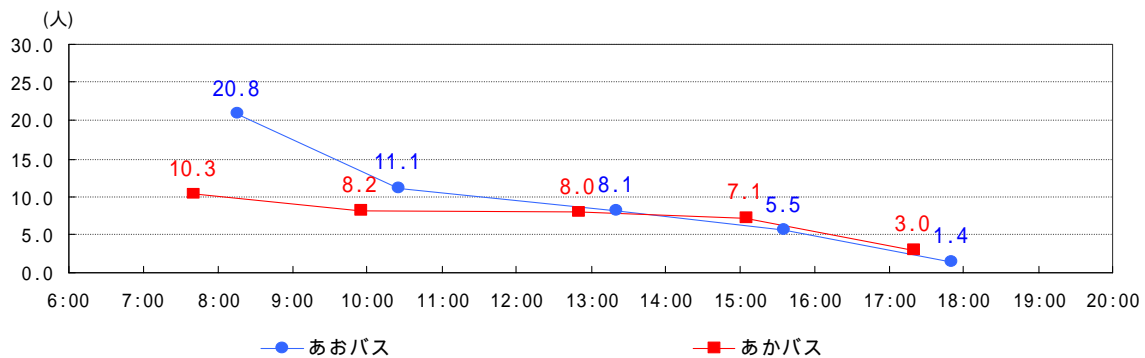
期間利用者数は新運行約 21,000 人であり、目標値の 30,000 人とは大きく離れてしまっている。旧運行と比較しても約 5,000 人減少している。
 運行経費は全体で約 300 万円旧運行時から上昇し、利用者 1 人当り 330 円増加した。
 新運行では日運行本数を 1 便増便したため運行経費が増加させたが、それに見合った利用者数の増加が得られなかった。

上田市街地循環バス	日運行本数 (便)	年間目標値 (需要予測値)	期間延べ利用者数 (人)	日平均利用者数 (人)	1便当り利用者数 (人/便)	期間運行経費 (千円)	日平均運行経費 (千円)	利用者1人当り運行経費 (円/人)
新運行 (H20年11月 ~ H21年9月)	18	約30000	20,746	77.4	4.3	20,172	75	970
旧運行 (H19年11月 ~ H20年9月)	17		25,990	96.3	5.7	16,725	62	640
新運行 - 旧運行			-5,244	-18.9	-1.4	3,447	13	330

新運行はH20年10月20日開始であるが、データ比較のため10月データは含めていない。
 新運行の日運行本数は旧運行と合わせ、東・西各コースで分離。
 運行経費は掛かった経費 - 運賃収入、旧運行は実績値、新運行は見込み値。

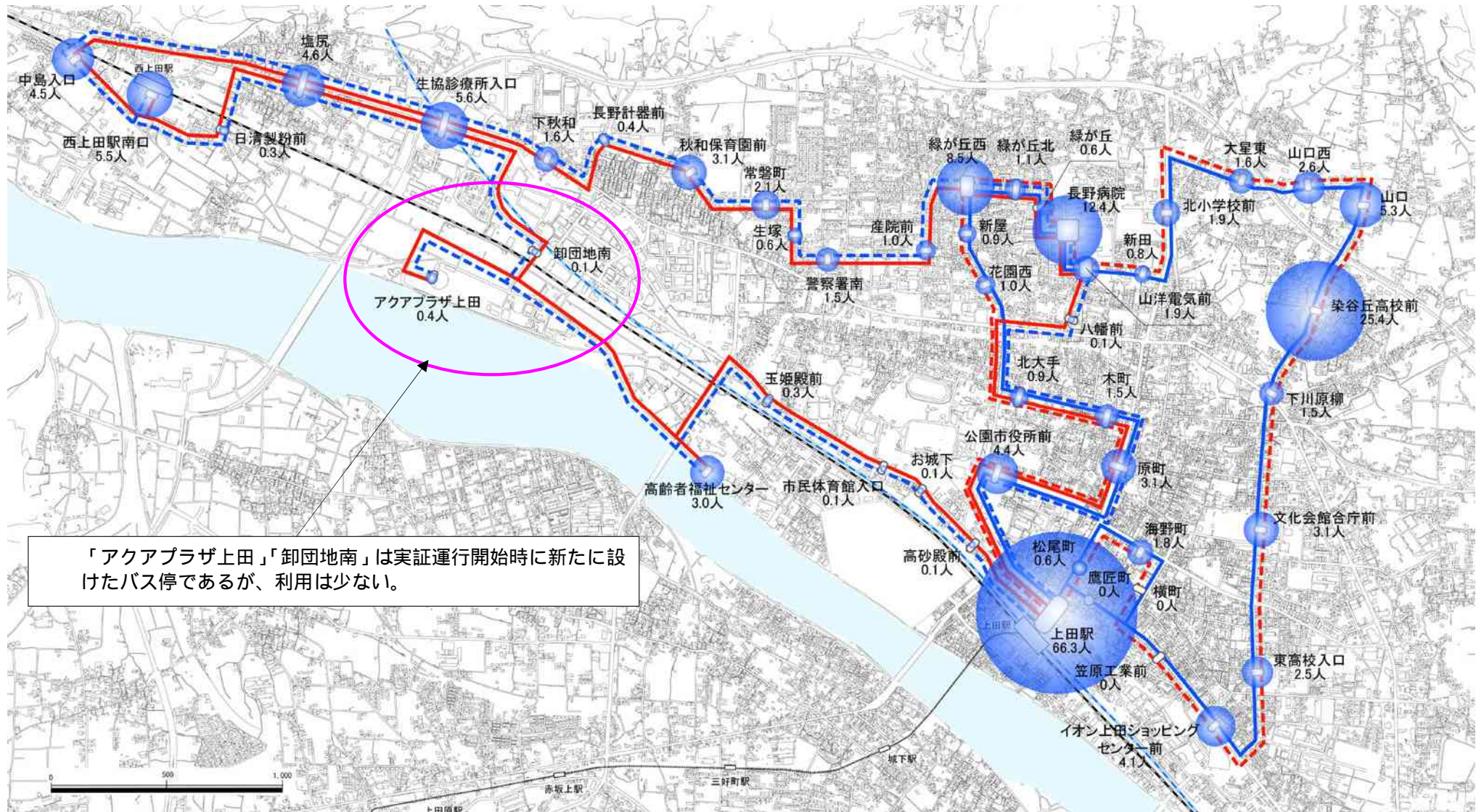
1 便当り平均利用者数 (平成 20 年 10 月 ~ 22 年 1 月)

あおバスの始発便は染谷丘高校生徒の利用により大きな需要がある。
 あおバス、あかバスは日中から昼間にかけては利用者数に大きな差は見られない。



毎日利用者数調査

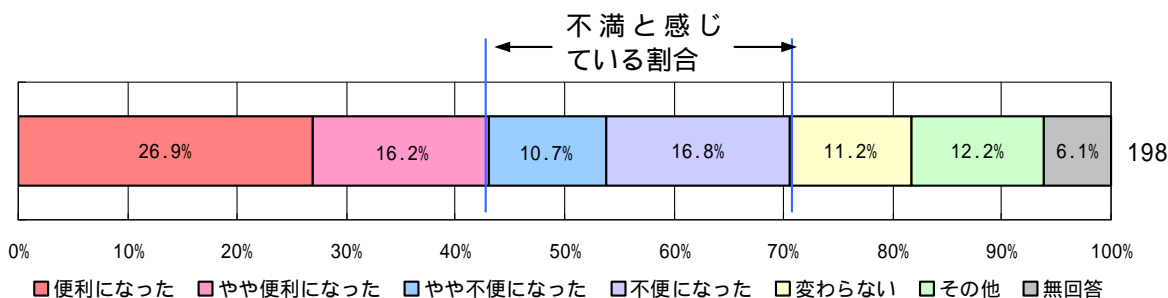
各バス停の乗降者数（第1回～第8回調査結果平均値）



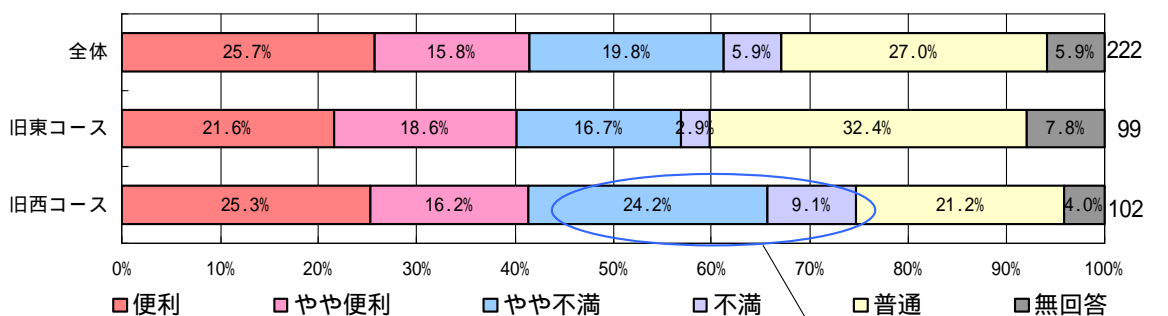
(2) 利用者の満足度

「便利」「やや便利」と感じている人は新運行開始当初も今年度も約40%であった。
 「不満」「やや不満」は約30%あり、特に旧西コース沿線で高い。

新運行は旧運行と比べ便利になったか？（平成20年度調査結果）



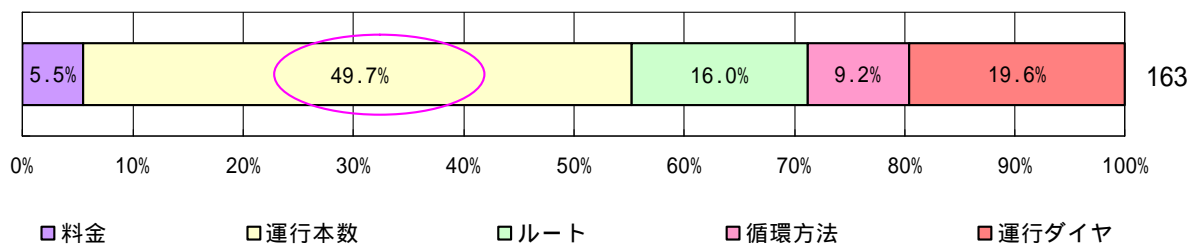
上田市街地循環バスに満足しているか？（平成21年度調査結果）



緑が丘、常磐町、秋和方面の旧西コースからの不満が高い。

具体的な不満点（平成21年度調査結果）

約半数が「運行本数」に対する不満である。これは、旧運行ではピストン型であった旧西コースが循環型に変わったことにより実質的な通過本数が減少してしまったためと思われる。



記述意見（平成 21 年度調査結果）

以下に具体的意見の分類と、抜粋した意見を示す。

< 運行本数が少ない・・・42 件 / 97 件 >

運行本数が少ない意見の中でも、「お昼時間帯に便が無いこと」「午後が特に不便」との意見が多い。

- ・ 12 時くらいに 1 本ほしい。(市街地部・80 歳以上・女性)
- ・ 運行本数が少ない。特に日中の本数が少ない。1 時間に 1 本はほしい。(市街地部・60 代・男性)
- ・ もう少し運行本数を増やしてほしい。お昼に開いてしまう。(市街地部・70 代・女性)
- ・ 1 時間で用を足せて帰れるようなダイヤ。本当は山口のツルヤでいいが、時間があまってしまうため東高校の店で買い物をし、イオンで買い物をするとちょうど良いためそうしている。(無回答・80 歳以上・女性)
- ・ バス停の表示が古い。長野病院方向への本数が 4 本 2 本 1 本で、時間帯を考えると利用できるのは前に比べると 3 本減ったことになる。(市街地部・60 代・男性)
- ・ 朝と夕方、新幹線の接続、本数が少ない(市街地部・70 代・女性)
- ・ 最終便が早すぎる。運行本数が少ない。(市街地部・60 代・女性)
- ・ 15:19 の頃もう 1 本ほしい。(市街地部・60 代・女性)
- ・ 生活パターンに合わないときがある。(市街地部・70 代・女性)
- ・ 運行本数が少ない。(市街地部・70 代・女性)
- ・ 15:00 すぎに無くなってしまった。(市街地部・80 歳以上・女性)
- ・ 本数が少ない。朝が遅すぎ、夕方が早すぎ。(市街地部・40 代・女性)
- ・ お昼あたりにほしい。(市街地部・70 代・女性)
- ・ 時間帯が不便、午前中に出てお昼ごろに帰れるダイヤにしてほしい。(市街地部・70 代・女性)
- ・ 時間帯が不便、運賃が上がったこと。(上田市地区不明・60 代・女性)
- ・ 秋と周辺が不便、回数が少ない。(市街地部・60 代・女性)
- ・ 早い時間のバスがほしい。(市街地部・80 歳以上・女性)

運行本数が少ないとする意見から抜粋し掲載

< 以前の運行形態がよかった・・・意見数 14 件 / 97 件 >

具体的には「松尾町」「西上田駅」への停車希望がある。
以前より時間が掛かるとの指摘がある。
利用状況の低い区間を走行しており、ルートに無駄があるとの指摘がある。

- ・ 前のダイヤが良かった。西上田の駅へ入ってほしい。(市街地部・70 代・女性)
- ・ 松尾町を通過してほしい。あおバス・あかバスと変わって苦労している。(市街地部・80 歳以上・女性)
- ・ 前の時刻とダイヤに戻してもらいたい。前は中島から産院前で降りられたが、今は上田駅からタクシーを使う。(市街地部・60 代・女性)
- ・ 前の方が良かった。(市街地部・80 歳以上・女性)
- ・ 前の方が良かった、戻してほしい。時刻が細かくて覚えられない。利用したくても利用ができない、時間が合わなくなった。(市街地部・50 代・女性)
- ・ 以前に戻してほしい。(市街地部・60 代・女性)
- ・ アクアプラザ上田等は乗車状況が低いいため運行をなくして、以前のバス路線に変更希望。(市街地

部・70代・女性)

- ・時間的には前の方が良い。(市街地部・70代・女性)
- ・改訂前より時間がかかる。(市街地部・70代・女性)
- ・改正前が良かった。下塩尻の前の時刻表があるので訂正してください。(市街地部・80歳以上・女性)
- ・時間帯が変わって乗りにくくなった。タクシーを使わざるを得ない。前の方が良かった。回数が少なくなった。路線がなくなるとは困る。(市街地部・80歳以上・女性)
- ・循環がわかりにくい、タクシーを利用するようになった。前の方が良い。検査の時などに合わない。(市街地部・80歳以上・女性)
- ・コースの変更、施設の営業時間外にバスが走っていたり無駄なルートもあると思う。(市街地部・60代・女性)
- ・コースは前の方が良かった。時間を揃えてほしい。(市街地部・70代・女性)

< 不要な箇所を回りすぎる・・・意見数 12件/97件 >

アクアプラザ上田はまわる必要性が無いとの意見が多い。

- ・もう少し増えると良い。前より遠回りになった、慣れるまで大変。(市街地部・80歳以上・女性)
- ・大回りしてしまう時がある。運行本数はもう少しほしい。車輛の段差が高い。(市街地部・70代・女性)
- ・目的地近くにバス停がない。遠回りしている。(市街地部・80歳以上・女性)
- ・アクアプラザ等は不要ではないか。(市街地部・80歳以上・女性)
- ・不要な箇所を回りすぎる(アクアプラザ等)。(市街地部・70代・女性)
- ・2時間では間隔が広すぎる。アクアプラザの方は不要ではないか。(市街地部・70代・女性)
- ・不要な所も回る(アクアプラザ、カインズの前、木町)はいらないのでは。(市街地部・80歳以上・女性)
- ・西上田駅をまたがなくてはならないので不便。線路の片方にも一つバス停を。不要な箇所を回りすぎ(アクアプラザ、カインズ、木町、北大手)。(市街地部・70代・女性)
- ・アクアプラザ上田方面へのバスの運行は必要とは思わない。(市街地部・80歳以上・女性)
- ・アクアプラザ上田方面はいらないと思う。(市街地部・70代・女性)
- ・目的地まで行くのに遠回りになってしまう。(市街地部・70代・女性)
- ・乗車時間が長い。(市街地部・50代・女性)

< その他・・・意見数 29件/97件 >

区間制から200円定額制移行への不満である。

電車との接続を良くしてほしい。

バスにステップを付けて欲しいなど車両面への要望

などの意見があった。

- ・遠い所でも近い所でも200円はいや。上田を出るバスが10時と11時があったが、11時は無くなってしまった。(市街地部・80歳以上・女性)
- ・100円の時に乗っていた人が乗らなくなった。(市街地部・70代・女性)
- ・以前は100円、今度はどこを利用しても200円、1周しても200円。以前から乗っていた区間が同じで1周しないのに200円は高い。(市街地部・70代・女性)
- ・回数券を充実させてほしい。一直線にしてほしい。運行本数が少ない。(市街地部・50代・女性)
- ・電車と時間をできるだけ合わせてほしい。(無回答・10代・女性)

- ・もう少し本数がほしい。上田駅での乗り換えが不便。高齢者福祉センターが10時からなので1時間待つ。(市街地部・70代・女性)
- ・電車と接続していない。(市街地部・60代・女性)
- ・電車との接続を良くしてほしい。(上田市地区不明・60代・女性)
- ・インターネット(上田市HP)で時刻表が探しにくい。(上田市外・40代・男性)
- ・安い方が良い。日曜日があれば利用する。降りる時の運転手の対応、時間にルーズ、時間通りに運行してほしい。(上田市外・50代・女性)
- ・あかバス・あおバスがようやくわかった。いろいろ回るのでありがたい。(市街地部・80歳以上・女性)
- ・イオンに行くバスがほしい。山口 合庁・イオンのバスがほしい。(市街地部・70代・女性)
- ・あか・あおバスがわかりづらい。乗務員の対応が悪い場合がある。(市街地部・20代・女性)
- ・バスにステップをつけてもらいたい。(市街地部・70代・女性)
- ・バス停と家が遠いことが困っている。(市街地部・60代・女性)
- ・バスが狭い(雨天)。(塩田地域・10代・女性)
- ・雨の日だけでもバスを少し大きくしてほしい。(上田市外・10代・女性)
- ・バスが小さいと思う。雨の日はとても混む。(上田市外・10代・女性)
- ・バスが小さい。(市街地部・10代・女性)
- ・日曜日でも運行してほしい。(市街地部・70代・男性)
- ・朝早い時間を希望。(市街地部・80歳以上・女性)
- ・反対方向のバス停がわからない。(上田市地区不明・70代・女性)
- ・家の前で乗れて良い。(市街地部・80歳以上・女性)
- ・川西方面(三好)へも行ってほしい。(上田市地区不明・70代・女性)
- ・長野病院で時間が合わない。(市街地部・70代・女性)
- ・ステップが高い。(無回答・40代・女性)
- ・車内アナウンスの切り替えがなかった。(市街地部・20代・女性)

(3) サービスレベルの確認

以下に主要な目的地である「上田駅周辺」「長野病院」「上田染谷丘高校」「高齢者福祉センター」へのサービスレベルをまとめる。東コースの代表地を「山口」、西コースの代表地を「常磐町」とする。

上田駅周辺

条件：午前中に行き1～2時間滞在できるサービス、午後に行き1～2時間滞在できるサービス。

東コースは運行距離も短く、「山口」もルート中間に位置するため、上田駅への利便性は高い。西コースは上田駅への往復に課題がある。

	行き 山口		上田駅	滞在時間	帰り 上田駅		山口	評価
午前中	9:06		9:25	1:00	10:25		10:44	
				1:30	10:55		11:21	
午後	13:39		14:05	1:30	15:35		15:54	
	14:16		14:35	1:00	15:35		15:54	
	常磐町		上田駅	滞在時間	上田駅		常磐町	評価
午前中	9:33		9:55	2:55	12:50		13:12	×
午後	14:43		15:05	1:15	16:20		16:58	

：あおバスでの帰りであるため、乗車時間が長くなってしまう。

長野病院

条件：診療時間は8:30～11:00 午前中に往復できるサービスレベル。

東コースは午前中の診療で午前中に帰宅できる。
西コースは午前中に行くとお昼過ぎにならないと帰宅が出来ない。

	行き 山口		上田駅	滞在時間	帰り 上田駅		山口	評価
午前中	8:29		8:36	2:38	11:14		11:21	
	常磐町		上田駅	滞在時間	上田駅		常磐町	評価
午前中	9:33		9:41	3:23	13:04		13:12	×

上田染谷丘高校

条件：8:30までに登校、16時台に下校

上田染谷丘高校への登下校には登下校ともに利用できるサービスがある。
上田染谷丘高校生徒の利用は市街地循環利用者の大きな利用を占めるため大切にしたい。

	上田駅		染谷丘高校	評価
登校	8:15		8:25	
	染谷丘高校		上田駅	評価
下校	16:35		16:50	
	17:50		18:05	

高齢者福祉センター

条件：開所時間は 9:00～16:30

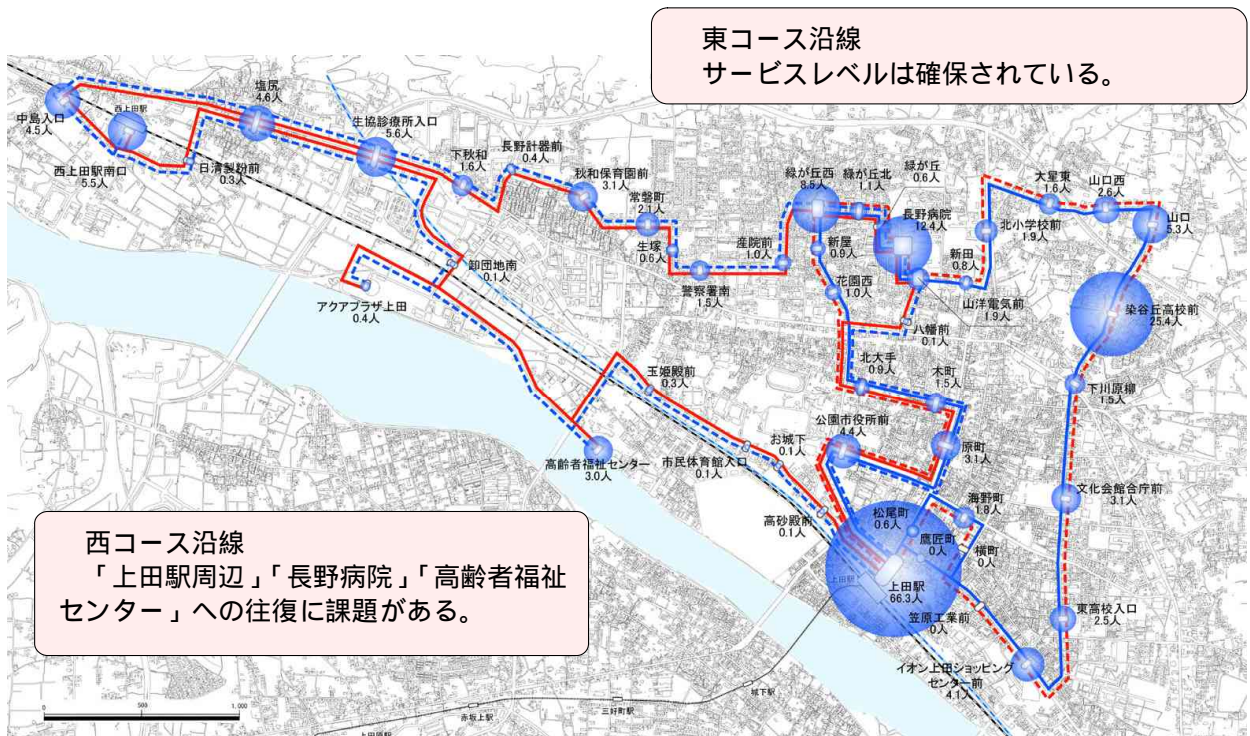
オレンジバスの時間に則り、朝 9:00～10:00 頃に着き、15:00～16:00 発で帰宅できる。

東コースは概ねセンターの開所時間中に利用できる。

西コースは到着くのが 10 時過ぎと遅く、帰りも 16:30 発と遅めである。

行き			滞在時間	帰り			
山口		高齢者福祉センター		高齢者福祉センター		山口	評価
	8:29		6:52	15:56		16:31	
常磐町		高齢者福祉センター		高齢者福祉センター		常磐町	評価
	10:17		5:43	16:29		16:58	×

(4) まとめ

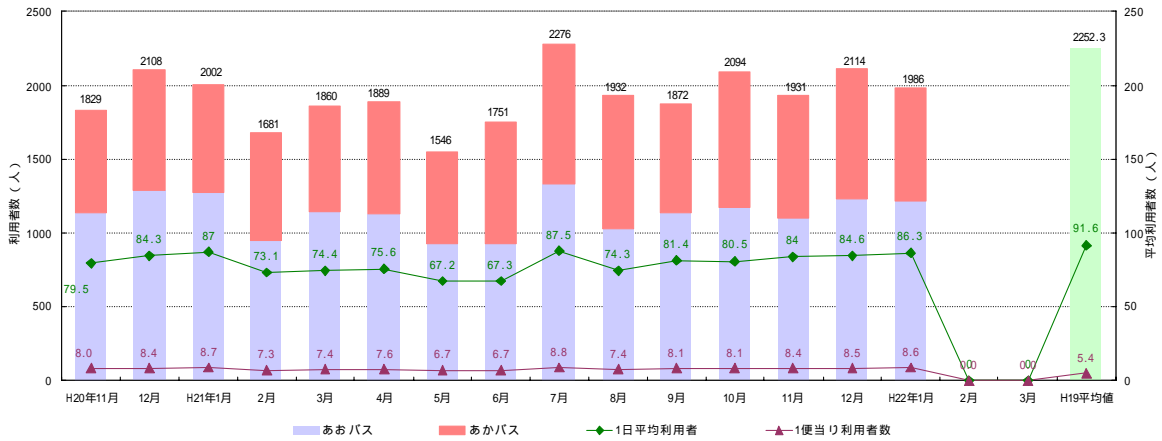


(5) 上田市街地循環バスの課題

以下に市街地循環バスが抱える課題を示す。

課題1．持ち直しの兆しも見せるが、低迷する利用者数

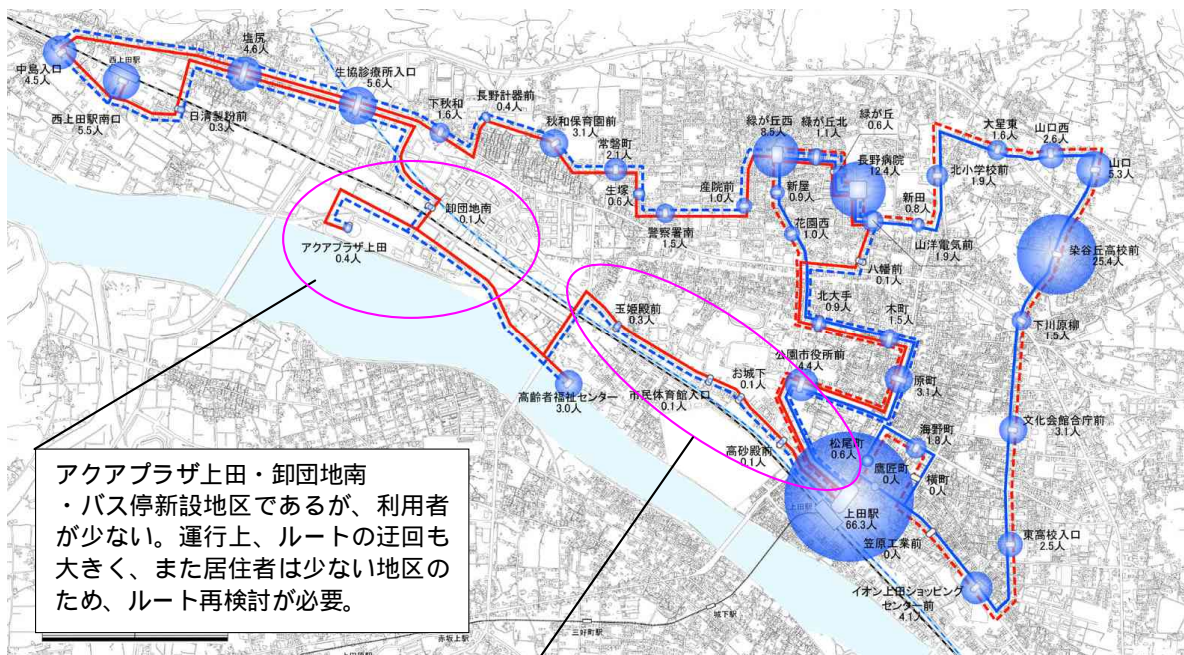
平成21年2月、5月、6月は利用が低迷したが6月より回復の兆しを見せている。しかし、平成19年月平均値2252.3人には達していない。



課題2．ルートの見直し

バス乗降客数調査より、バス停利用者数が平均1人に満たない箇所がある。それらは新運行移行時に新たに加えた地区であるが、利用者からは不要との声が聞かれるバス停もある。また、「松尾町」は利用者から停車要望の高いバス停である。

これらから調査実績と利用者の要望、また運行効率上から判断し、ルート見直しが可能な場所はルートを見直す。

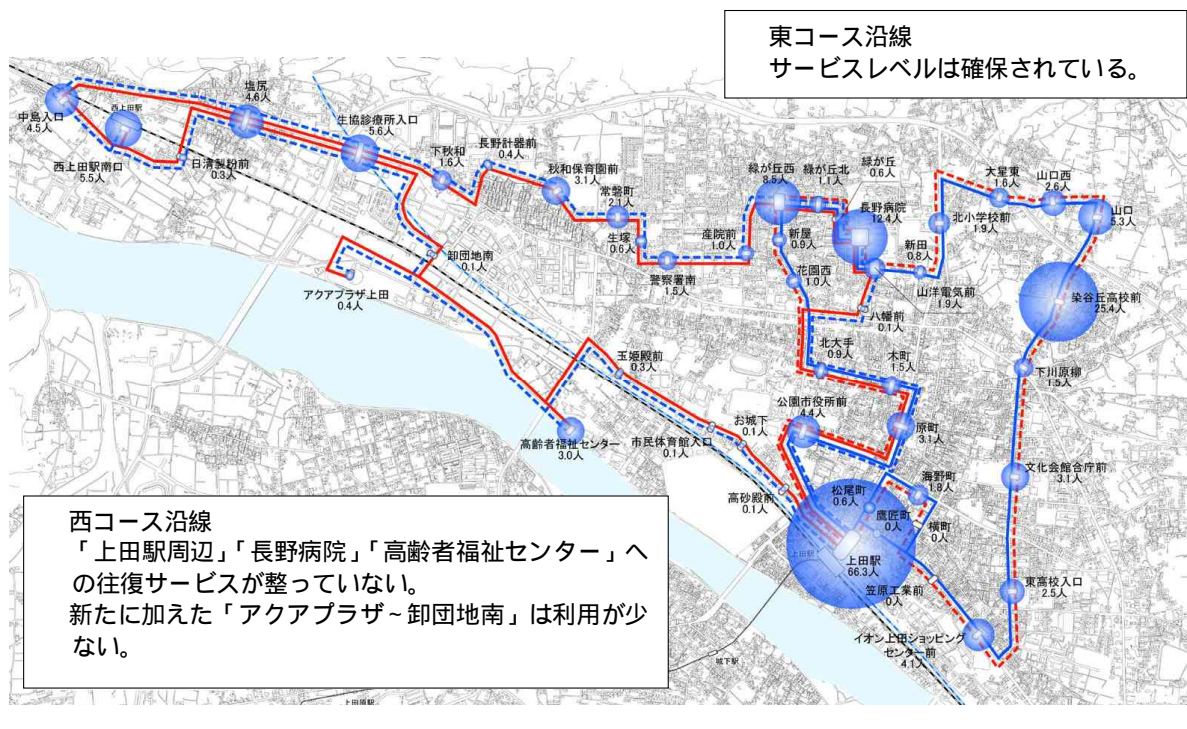
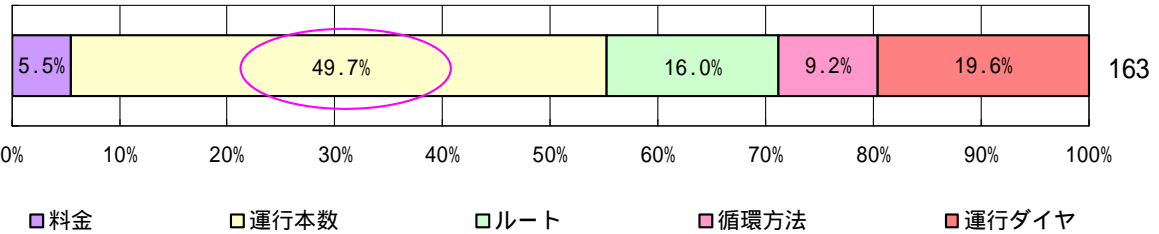


課題3．運行本数増加によるサービスアップ（特に西コース）

利用者に対して、具体的な不満点を聞いたところ、「運行本数」との回答が約5割を占めており、運行本数増加によるサービスアップが課題である。

特に、西コース沿線からの不満度が高く、旧運行から新運行移行時には発生したサービスレベルの変化にも対応する必要がある。

利用者からの要望



これら課題を解決するため見直し策を策定

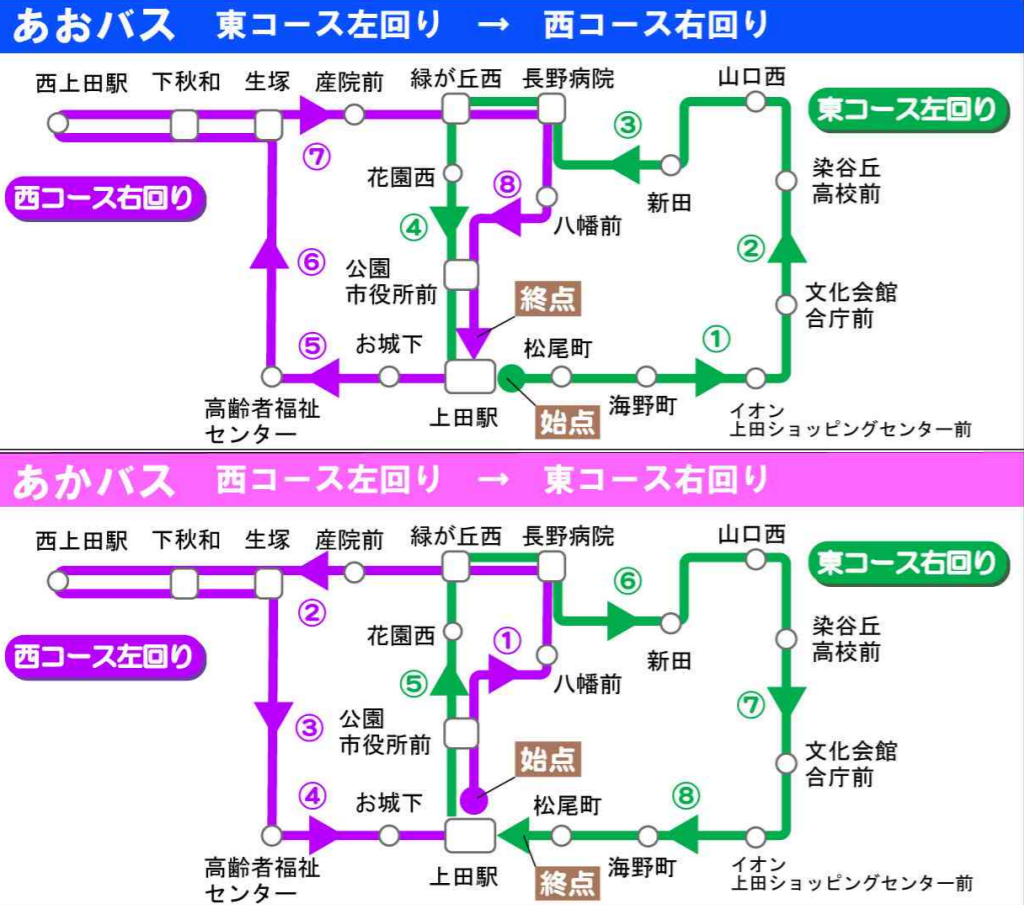
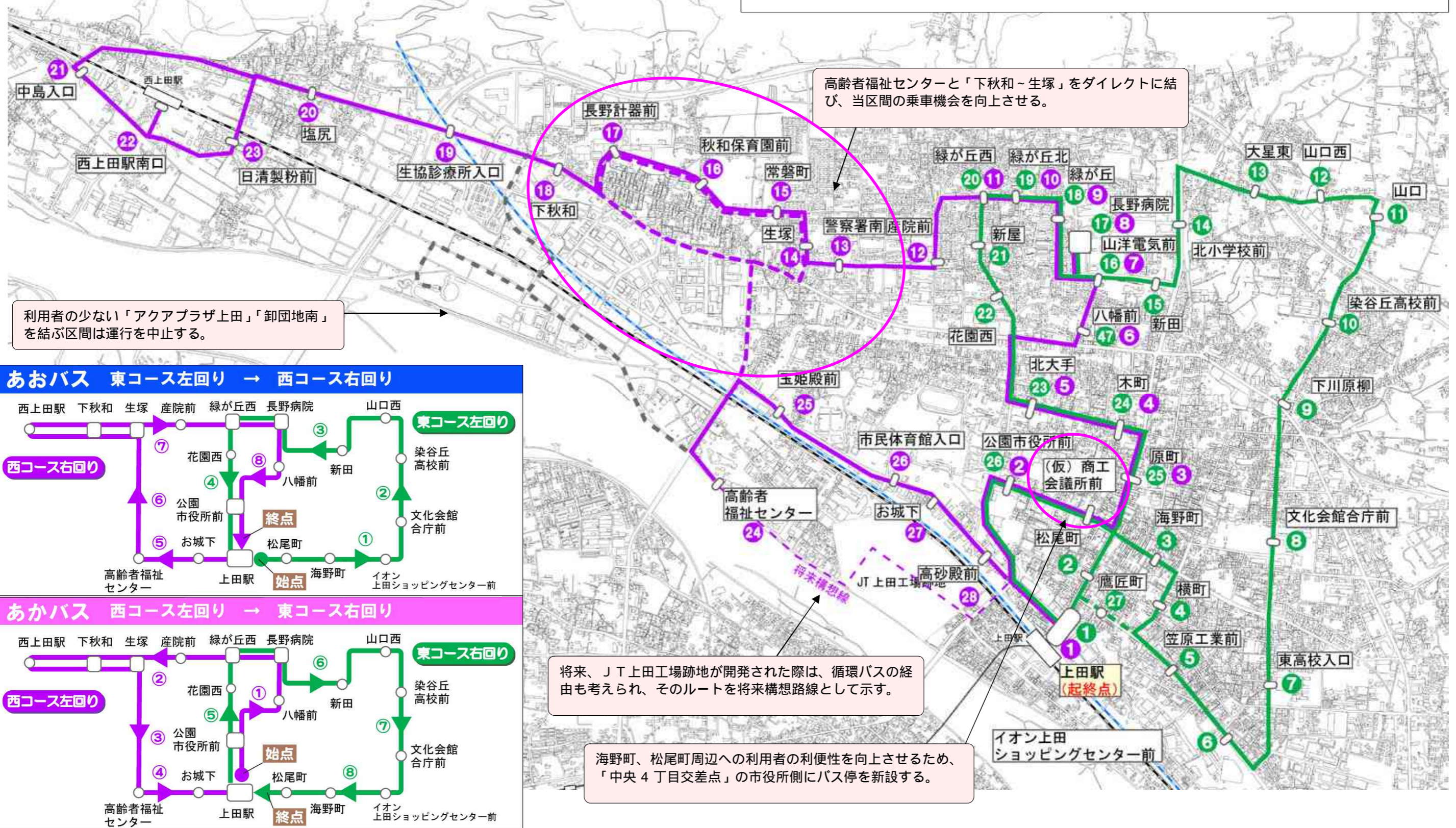
2-4.上田市街地循環バスの見直し策(案)

ルートの見直し方針

利用が少なく、利用者からも評価の低い「アクアプラザ上田～卸団地南」を運行中止し、秋和、常磐町、生塚周辺の利用者が利用しやすいルートとする。
 詳細なルートは関係機関と調整しながら具体的検討を行う。

ダイヤの見直し方針

利用者の混乱を生じさせないよう、現状ダイヤを元にした利便性の向上に努める。
 市街地循環バスは「上田駅周辺への買い物・私用や通院」「長野病院」「上田染谷丘高校」への利用が主である。
 よって、これらへの移動に最も配慮したダイヤ設定とする。
 詳細ダイヤは交通事業者と協議を重ね検討していく。

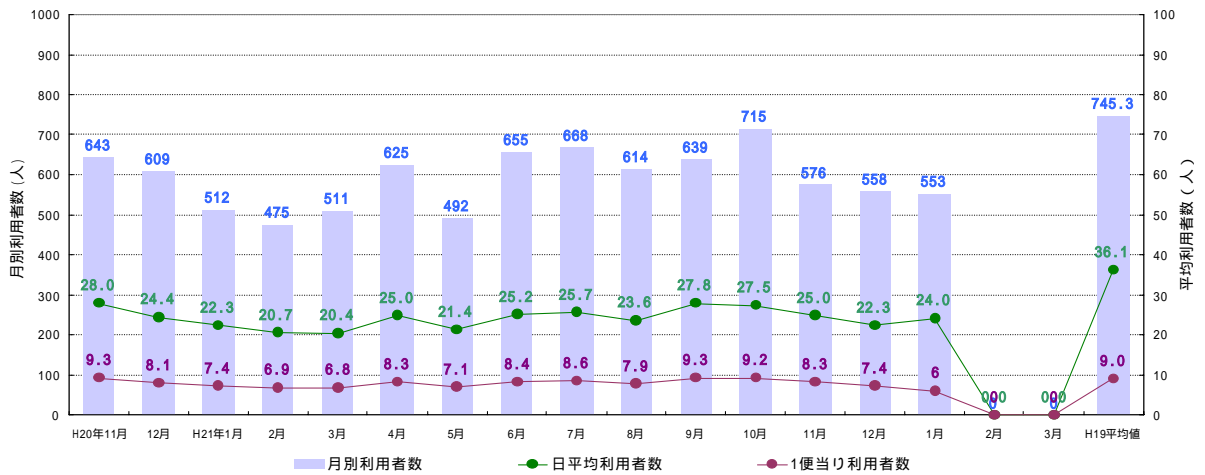


2 - 5. 丸子地域循環バスの事後評価（平成 22 年 1 月 4 日以前）

(1) 利用者数から見た事後評価

月別利用者数の推移

運行開始当初から平成 21 年 2 月までは利用が低迷したが、3 月以降持ち直しの傾向を見せている。しかし、旧運行の平成 19 年度平均月利用者数 745.3 人には達していない。



毎日利用者数調査

期間利用者数と運行経費の旧運行、新運行との比較

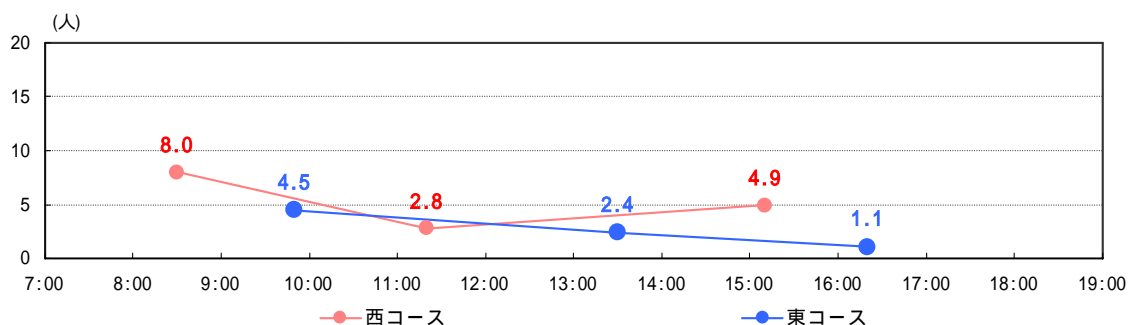
期間利用者数は新運行約 6,500 人であり、目標値の 13,000 人とは大きく離れてしまっている。旧運行と比較しても約 1,300 人減少している。
 運行経費は全体で約 200 万円旧運行時から上昇し、利用者 1 人当たり 510 円増加した。
 公共交通空白地域解消のため、ルートを細かく設定したため運行経費が高んだが利用者が伸びなかったことから、利用者 1 人当たりの経費は嵩んでしまい、ルート設定に課題を残してしまった。

丸子地域循環バス	日運行本数 (便)	年間目標値 (需要予測値)	期間延べ利用者数 (人)	日平均利用者数 (人)	1便当り利用者数 (人/便)	期間運行経費 (千円)	日平均運行経費 (千円)	利用者1人当り運行経費 (円/人)
新運行 (H20年11月 ~ H21年9月)	3	約13000	6,443	25.2	8.4	9,749	36	1,510
旧運行 (H19年11月 ~ H20年9月)	4		7,761	34.2	8.5	7,785	34	1,000
新運行 - 旧運行			-1,318	-9.0	-0.1	1,964	2	510

新運行はH20年10月20日開始であるが、データ比較のため10月データは含めていない。
 新運行の日運行本数は旧運行と合わせ、東+西コースで1便とする。
 運行経費は掛かった経費 - 運賃収入、旧運行は実績値、新運行は見込み値。

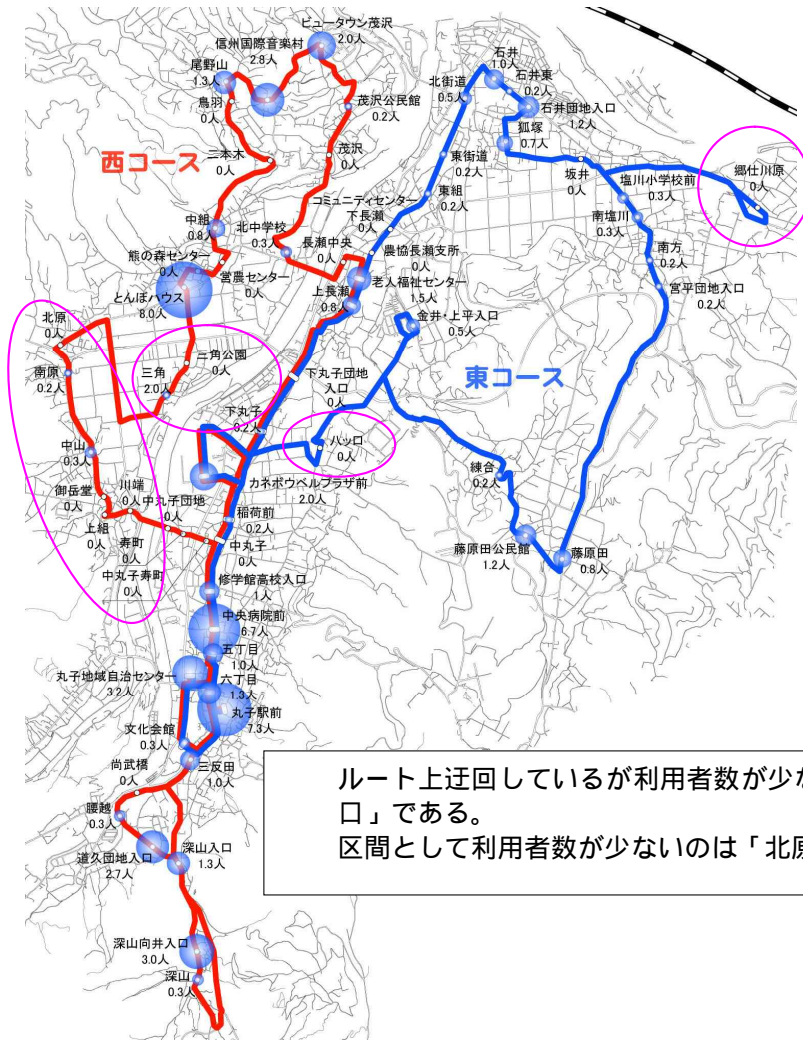
1 便当り平均利用者数（平成 20 年 10 月 ~ 21 年 12 月）

西コースの第 1 便は福祉施設への通所利用があり、1 便当り 5 人以上の利用で安定した利用が見込める。
 他の便は 5 人以下であり、特に東コースは利用が少ない。



毎日利用者数調査

各バス停の乗降者数



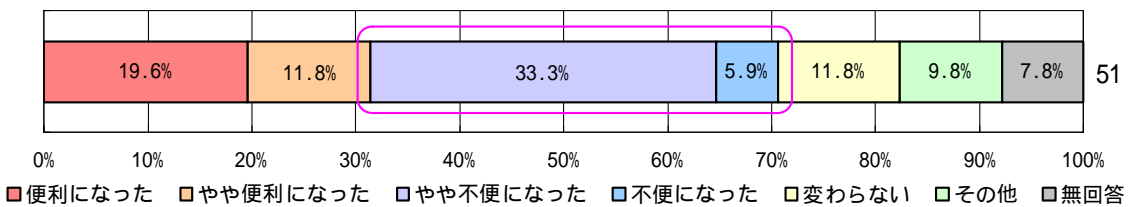
ルート上迂回しているが利用者が少ないのは「郷仕川原」「三角」「ハッ口」である。
 区間として利用者が少ないのは「北原～中丸子寿町」である。

バス乗降客数調査結果の第1回～6回平均値

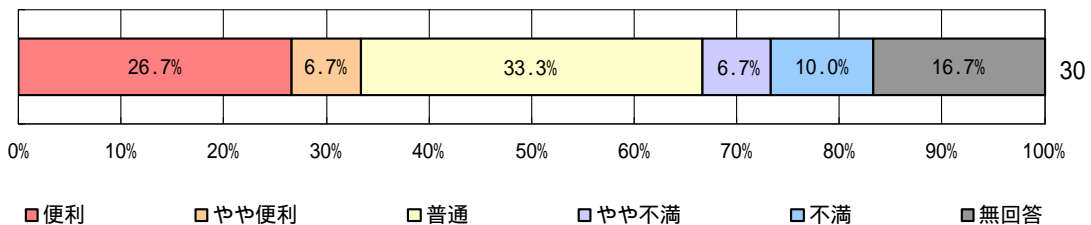
(2) 利用者の満足度

当初「不便になった」「不便」が約40%と大きな割合を占めた。
 平成21年度の結果では「普通」が約30%と大きな割合を占めた。「不便」「やや不便」の割合は減少したが、不便に思った人が利用しなくなった可能性もある。

新運行（平成22年1月4日以前）は旧運行と比べ便利になったか？（平成20年度調査結果）



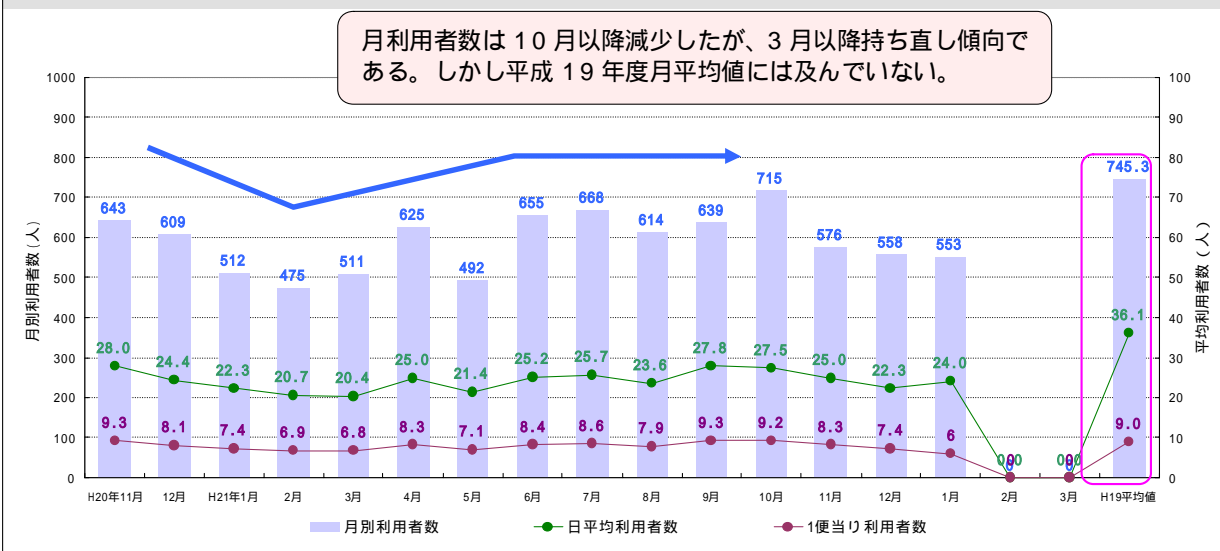
丸子地域循環バスに満足しているか？（第4回～第6回結果）



(3) 丸子地域循環バスの課題（平成 22 年 1 月 4 日以前）

以下に丸子地域循環バスが抱える課題を示す。

課題 1 . 持ち直しは見せているが、低い利用実態



課題 2 . 利用者の行動に合ったダイヤの見直し

運行間隔の開きによる利便性低下の解消

特に東コース沿線における丸子中央病院利用の利便性向上

丸子中央病院へ通院する場合

西コース

パターン	通院	午後
丸子中央病院着	1便 9:35	2便 12:25
滞在時間	(2:02)	(2:50)
丸子中央病院発	2便 11:37	3便 15:15

東コース

パターン	通院	午後
丸子中央病院着	1便 10:53	2便 14:33
滞在時間	(2:43)	(1:54)
丸子中央病院発	2便 13:36	3便 16:27

石井や藤原田地区からは診察時間に間に合わない

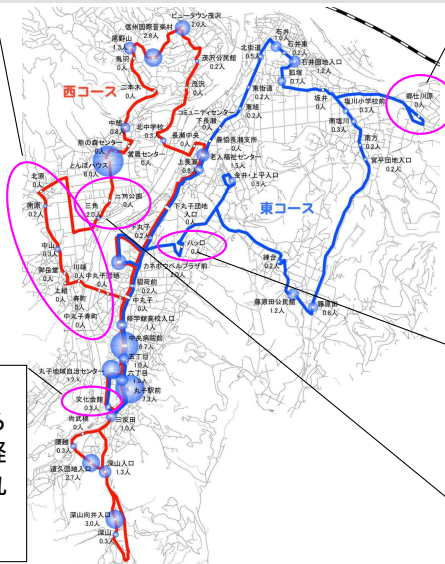
課題 3 . 利用不便地域をカバーするためにルート変更したが、一部バス停は利用が低い。

中山・北原

・利用者が非常に少ない区間。また、西丸子線も通っていることより、他地区に比べサービスレベルは高い。そのため、運行の効率上からもルートの再検討が必要である。

文化会館

・文化会館へは迂回が必要であるが、利用者は少なく、文化会館を経由することにより、深山地区から丸子駅前に行けない状態である。



郷仕川原

・バス停新設地区であるが、調査 6 回とも 1 人の乗降もなく、ルートの迂回も大きいので、ルート再検討が必要。

ハッコ

・バス停新設地区であるが、調査 6 回とも 1 人の乗降もないため、ルートの再検討が必要。

三角

・利用者が非常に少ないがルートの迂回が大きいので、運行効率上検討の必要がある。

これら課題を解決するため見直し策を策定し平成 22 年 1 月 4 日より実証運行開始。

2 - 6. 丸子地域循環バスの見直し策

丸子地域循環バスは第4回上田市地域公共交通活性化協議会において見直し策が承認され平成22年1月4日より新たな運行形態で実証運行を開始した。その運行形態と利用状況を示す。

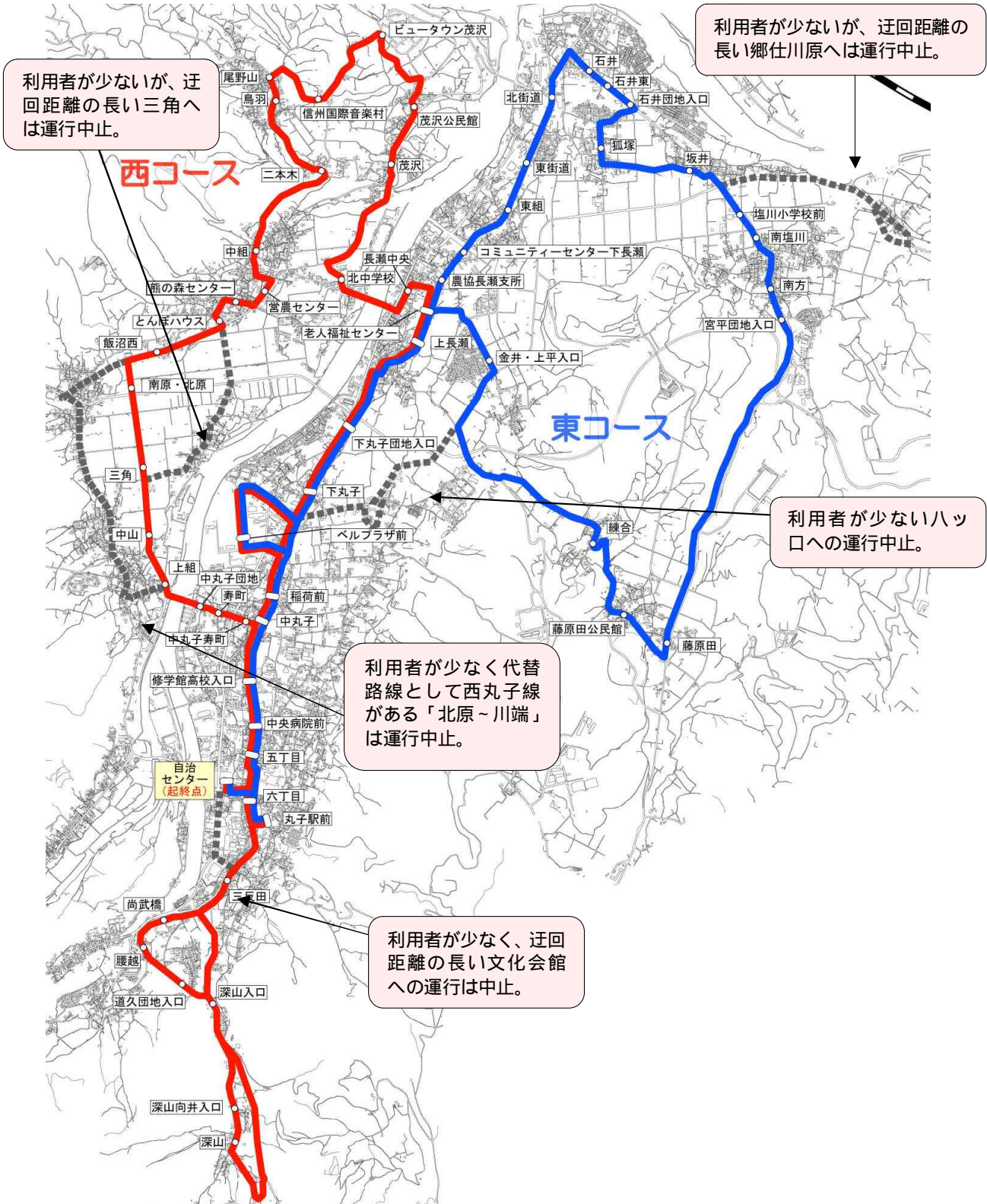
見直し方針

利用が少ないバス停、区間を見直し、効率的なルートに再編する。

丸子駅での滞在時間を1時間半程度確保し、午前中・午後でそれぞれ往復できるようダイヤを見直す。

福祉施設への通所時間に配慮する。

(1) ルートの見直し



(2) ダイヤの見直し

変更事項

従来西コース、東コース各3便を各4便へ増便し運行間隔を縮めた。
 朝の便で中心市街地に買い物あるいは病院に行き、お昼頃の便で帰れるよう配慮した。
 中心市街地滞在時間を1時間半程度とするように配慮した。
 福祉施設への通所時間に配慮した。
 丸子地区の中心である「丸子駅前」にはどの地区からの便も通過するようにした。
 西コース始発便は時刻が早い「ベルプラザ」は通過とした。

西コース	1便	2便	3便	4便	東コース	1便	2便	3便	4便
	C	D	C	D		A	B	A	B
自治センター	8:00	11:30	12:55	16:40	自治センター	9:00	12:25	14:10	17:35
六丁目		11:29	12:56	16:39	六丁目	9:01	12:24	14:11	17:34
丸子駅前		11:28	12:57	16:38	丸子駅前	9:02	12:23	14:12	17:33
三反田		11:27	12:58	16:37	六丁目	9:03	12:22	14:13	17:32
深山入口	8:04	11:25	13:00	16:35	五丁目	9:04	12:21	14:14	17:31
深山	8:07	11:22	13:03	16:32	中央病院前	9:05	12:20	14:15	17:30
深山向井入口	8:08	11:21	13:04	16:31	修学館高校入口	9:05	12:20	14:15	17:30
道久団地入口	8:09	11:20	13:05	16:30	中丸子	9:06	12:19	14:16	17:29
腰越	8:10	11:19	13:06	16:29	稲荷前	9:07	12:18	14:17	17:28
尚武橋	8:11	11:18	13:07	16:28	ベルプラザ前	9:08	12:17	14:18	17:27
三反田	8:12	11:17	13:08	16:27	下丸子	9:10	12:15	14:20	17:25
丸子駅前	8:13	11:16	13:09	16:26	下丸子団地入口	9:11	12:14	14:21	17:24
六丁目	8:14	11:15	13:10	16:25	上長瀬	9:12	12:13	14:22	17:23
五丁目	8:15	11:14	13:11	16:24	老人福祉センター	9:13	12:12	14:23	17:22
中央病院前	8:16	11:13	13:12	16:23	金井・上平入口	9:15	12:10	14:25	17:20
修学館高校入口	8:16	11:13	13:12	16:23	練合	9:20	12:05	14:30	17:15
中丸子		11:12	13:13	16:22	藤原田公民館	9:22	12:03	14:32	17:13
稲荷前		11:11	13:14	16:21	藤原田	9:24	12:01	14:34	17:11
ベルプラザ前		11:10	13:15	16:20	宮平団地入口	9:27	11:58	14:37	17:08
稲荷前		11:08	13:17	16:18	南方	9:28	11:57	14:38	17:07
中丸子		11:07	13:18	16:17	南塩川	9:28	11:57	14:38	17:07
中丸子寿町	8:17	11:06	13:19	16:16	塩川小学校前	9:29	11:56	14:39	17:06
寿町	8:18	11:05	13:20	16:15	坂井	9:30	11:55	14:40	17:05
中丸子団地	8:19	11:04	13:21	16:14	狐塚	9:31	11:54	14:41	17:04
上組	8:20	11:03	13:22	16:13	石井団地入口	9:33	11:52	14:43	17:02
中山	8:21	11:02	13:23	16:12	石井東	9:34	11:51	14:44	17:01
三角	8:22	11:01	13:24	16:11	石井	9:35	11:50	14:45	17:00
南原・北原	8:24	10:59	13:26	16:09	北街道	9:37	11:48	14:47	16:58
飯沼西	8:24	10:59	13:26	16:09	東街道	9:38	11:47	14:48	16:57
とんぼハウス	8:25	10:58	13:27	16:08	東組	9:39	11:46	14:49	16:56
熊の森センター	8:26	10:57	13:28	16:07	コミュニティセンター 下長瀬	9:40	11:45	14:50	16:55
営農センター	8:27	10:56	13:29	16:06	農協長瀬支所	9:41	11:44	14:51	16:54
中組	8:28	10:55	13:30	16:05	老人福祉センター	9:42	11:43	14:52	16:53
二本木	8:29	10:54	13:31	16:04	上長瀬	9:43	11:42	14:53	16:52
鳥羽	8:30	10:53	13:32	16:03	下丸子団地入口	9:44	11:41	14:54	16:51
尾野山	8:31	10:52	13:33	16:02	下丸子	9:45	11:40	14:55	16:50
信州国際音楽村	8:33	10:50	13:35	16:00	ベルプラザ前	9:46	11:39	14:56	16:49
ピュータウン茂沢	8:35	10:48	13:37	15:58	稲荷前	9:48	11:37	14:58	16:47
茂沢公民館	8:37	10:46	13:39	15:56	中丸子	9:49	11:36	14:59	16:46
茂沢	8:39	10:44	13:41	15:54	修学館高校入口	9:50	11:35	15:00	16:45
北中学校	8:40	10:43	13:42	15:53	中央病院前	9:50	11:35	15:00	16:45
長瀬中央	8:43	10:40	13:45	15:50	五丁目	9:51	11:34	15:01	16:44
老人福祉センター	8:45	10:38	13:47	15:48	六丁目	9:52	11:33	15:02	16:43
上長瀬	8:46	10:37	13:48	15:47	丸子駅前	9:53	11:32	15:03	16:42
下丸子団地入口	8:47	10:36	13:49	15:46	六丁目	9:54	11:31	15:04	16:41
下丸子	8:48	10:35	13:50	15:45	自治センター	9:55	11:30	15:05	16:40
ベルプラザ前	8:49	10:34	13:51	15:44	所要時間	0:55	0:55	0:55	0:55
稲荷前	8:51	10:32	13:53	15:42					
中丸子	8:52	10:31	13:54	15:41					
修学館高校入口	8:53	10:30	13:55	15:40					
中央病院前	8:53	10:30	13:55	15:40					
五丁目	8:54	10:29	13:56	15:39					
六丁目	8:55	10:28	13:57	15:38					
丸子駅前	8:56	10:27	13:58	15:37					
六丁目	8:57	10:26	13:59	15:36					
自治センター	8:58	10:25	14:00	15:35					
所要時間	0:58	1:05	1:05	1:05					

(3) サービスレベルの確認

中央総合病院へ通院の場合

午前中診察を受け、午前中に帰宅可能。

【西コース】

【東コース】

パターン	西コース		東コース	
丸子中央病院着	1便 8:53	1便 8:53	1便 9:50	2便 9:50
滞在時間	(1:37)	(4:19)	(1:45)	(4:25)
丸子中央病院発	2便 10:30	3便 13:12	2便 11:35	3便 14:15

丸子駅前へ買い物の場合

【西コース】

【東コース】

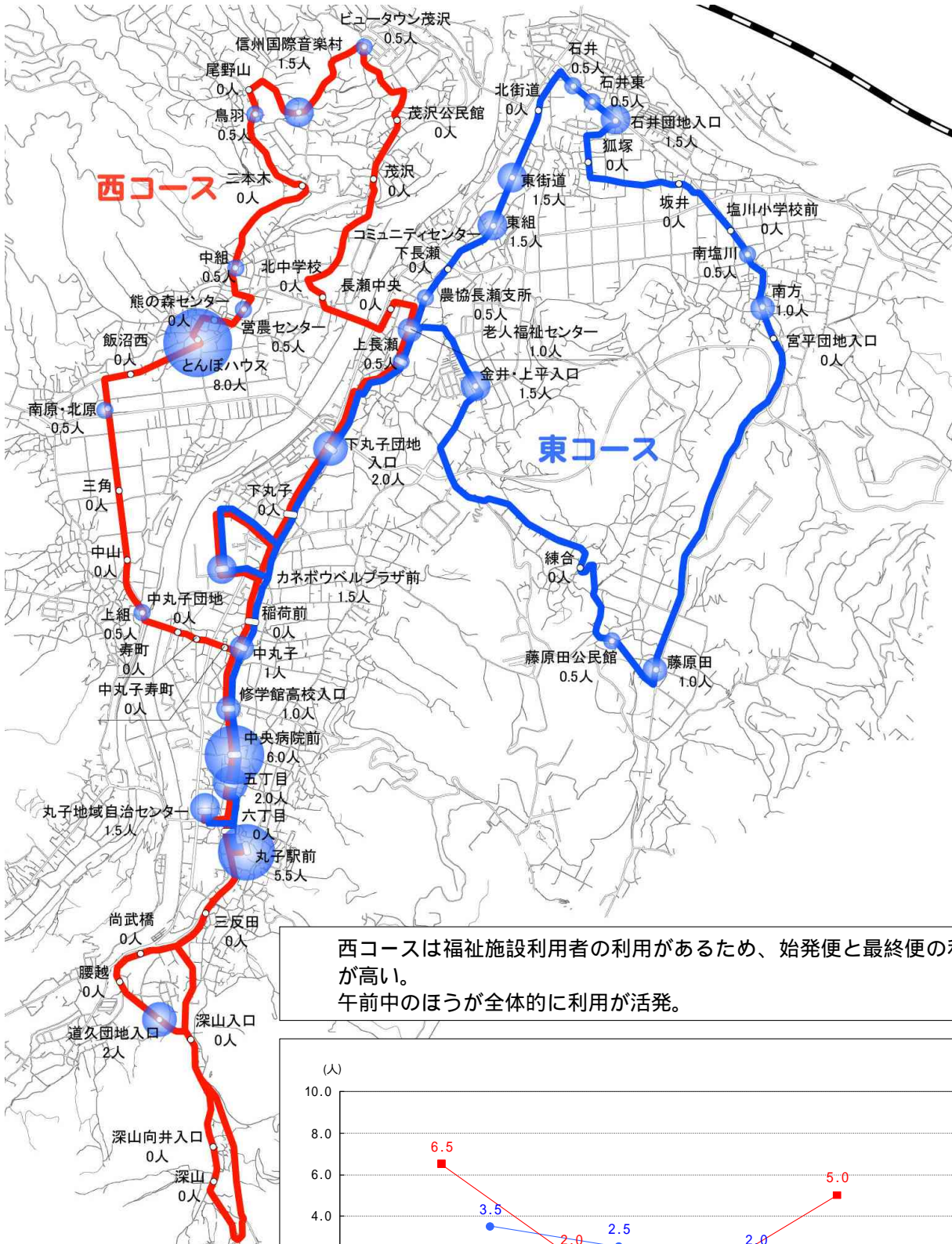
パターン	西コース				東コース			
	丸子駅前マツヤ着	買い物	丸子駅前マツヤ発	滞在時間	丸子駅前マツヤ着	買い物	丸子駅前マツヤ発	滞在時間
丸子駅前マツヤ着	1便 8:56		2便 11:28	3便 13:58	1便 9:53		2便 12:23	3便 15:03
滞在時間		(1:31)	(1:29)	(1:39)		(1:39)	(1:49)	(1:39)
丸子駅前マツヤ発	2便 10:27		3便 12:57	4便 15:37	2便 11:32		3便 14:12	4便 16:42

中心市街地へは約1時間半の滞在時間を確保。

(4) 丸子地域循環バス見直し策の利用状況調査結果

ここでは平成 22 年 1 月 4 日より新たな運行形態で運行された丸子地域循環バスの利用状況と利用者の声をまとめる。

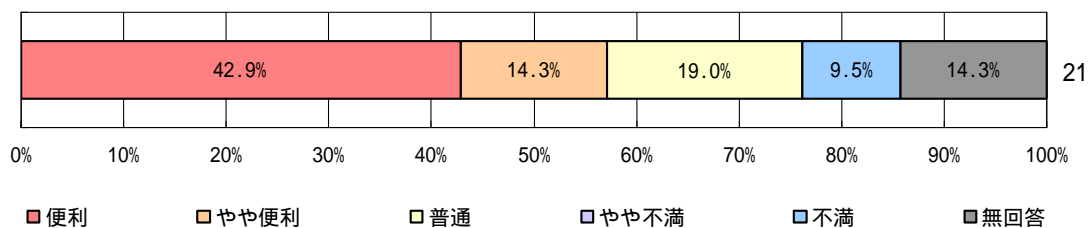
利用状況（第 7 回～8 回調査結果・・・各バス停乗降客数平均値）



西コースは福祉施設利用者の利用があるため、始発便と最終便の利用が高い。
午前中のほうが全体的に利用が活発。

利用者の満足度（第7回～8回の利用者ヒアリング調査結果）

利用者の約60%の人が「便利、やや便利」と回答しており、利用者にとっては利便性が良いと判断できる。



利用者の声（第7回～8回調査結果）

聞き取った意見数14件中10件で「1月以前より良くなった」との意見であった。

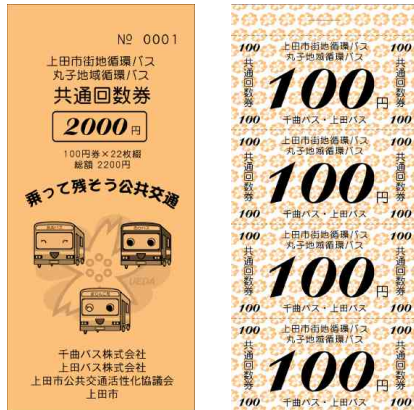
- ・前のダイヤより良くなった。(丸子地域・70代・女性)
- ・前のダイヤより良くなった。(丸子地域・70代・男性)
- ・大屋駅に直通してもらいたい。そうすればもっと便利になり、利用も増えるのでは。前のダイヤよりは良くなった。(丸子地域・60代・女性)
- ・前のダイヤより良くなった。改正したからまた使い出した。(丸子地域・70代・女性)
- ・人のいない所を回りすぎる。(丸子地域・70代・女性)
- ・前より丸子駅での時間が短くなり便利になった。(丸子地域・70代・女性)
- ・午前と午後を1便ずつ増やしてほしい。12時台に1本あれば朝1番で行って11時台と12時台を選べ余裕ができる。(丸子地域・70代・男性)
- ・前のダイヤより便利になった、とてもありがたい。(丸子地域・80歳以上・女性)
- ・飯沼へのルートができて助かった。(丸子地域・80歳以上・女性)

2 - 7.上田市循環バス共通回数券の発行

(1) 事業概要

200円と100円の区間制から200円定額制へ移行したことにより、短区間利用者にとっては実質値上げとなり、利用者からも不満が挙げられている現状にある。また、丸子地域循環バスでは以前から回数券が存在し、利用者にも浸透している。そこで、利用者の料金支払い行為の簡素化と利用促進を目的に、割引率10%（2,000円券で2,200円利用可能）の回数券の販売を平成22年1月4日より開始した。

販売されている回数券



利用可能路線

「上田市循環バス専用回数券」とし、市街地循環バス及び丸子地域循環バス共通で利用できるものとした。

回数券利用可能路線
市街地循環バス（あおバス・あかバス）
丸子地域循環バス（まりんこ号）

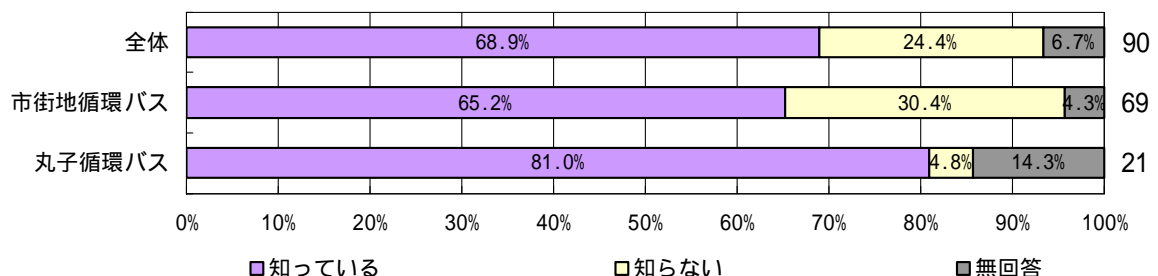
販売場所

回数券の販売場所は当面「バス車内と千曲バス(株)営業所及び上田バス(株)営業所」での販売とする。その後、回数券の販売実績や利用者からの要望、関係機関との諸調整等により「別所線上田駅等」での販売を検討したい。

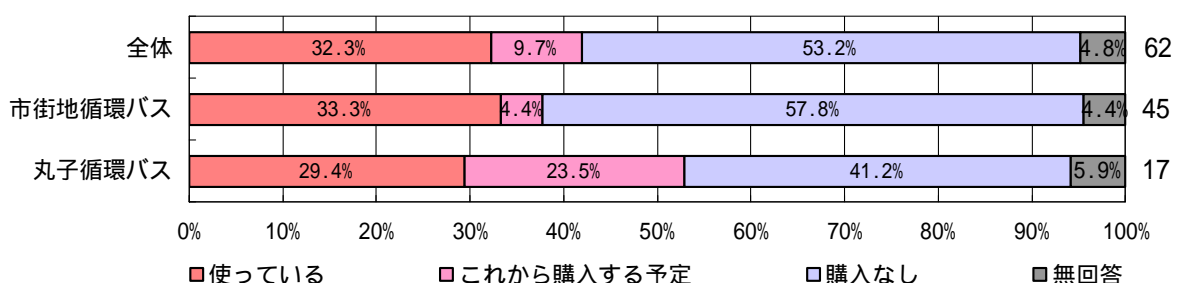
(2) 事後評価

回数券販売前にバス車内に周知チラシを掲出と広報への記事掲載を行い、周知を図った。循環バス利用者の周知度は約70%であった。市街地循環バスでの周知度が低い。利用度は「使っている」が両循環バスで30%、「購入予定なし」が約50%であった。購入予定なしと答えた利用者は「頻繁に利用しない」「無くしてしまう」などの理由が聞かれた。（丸子地域循環バス車内にて）

回数券の周知度（第7回～8回のバス利用者ヒアリング調査結果）



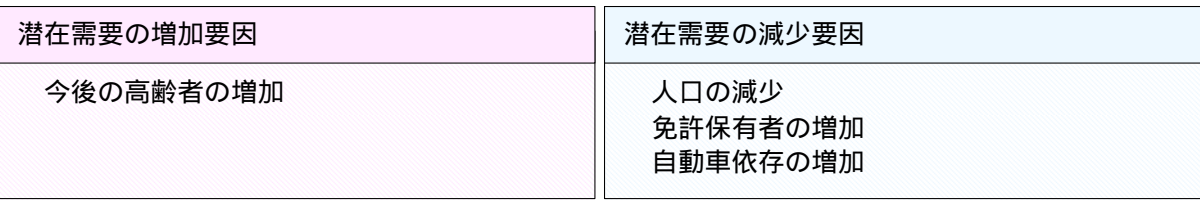
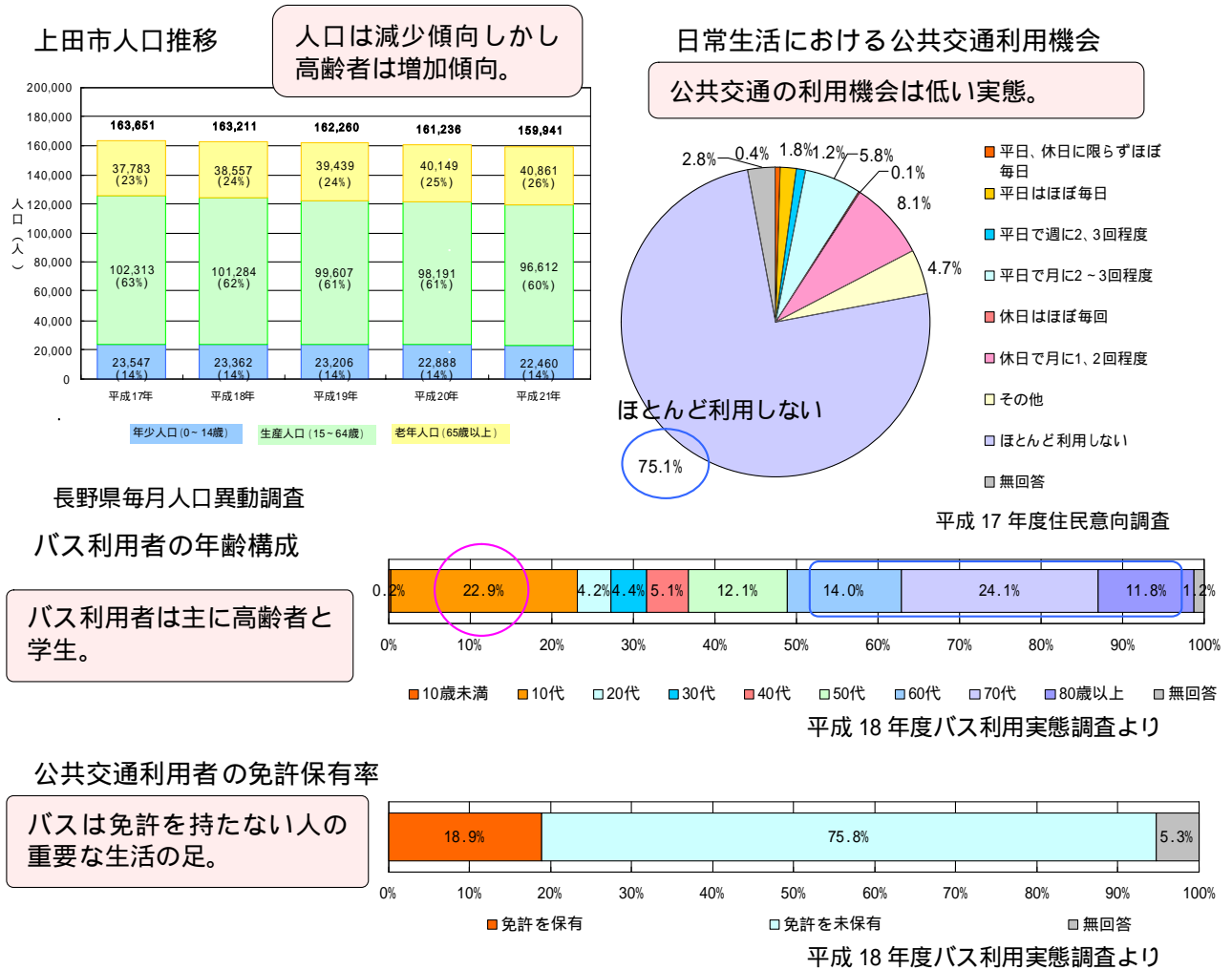
回数券の利用度（第7回～8回のバス利用者ヒアリング調査結果）



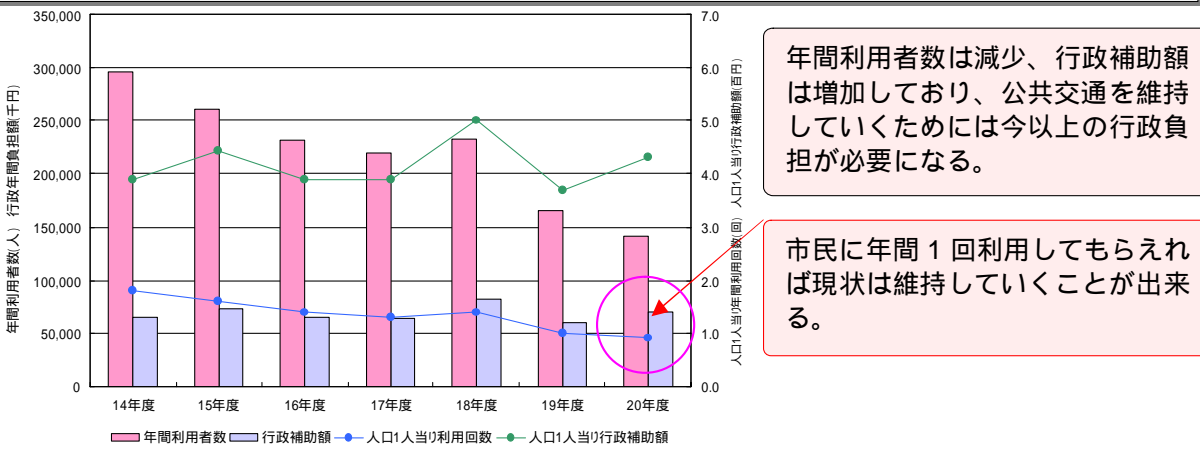
2-8.バスを乗って残していくための目標と見直し基準（案）

(1) 目標と見直し基準作成の背景

背景 1 . 今後の潜在需要の動向・・・需要は減少するが高齢者の潜在需要は増加の可能性

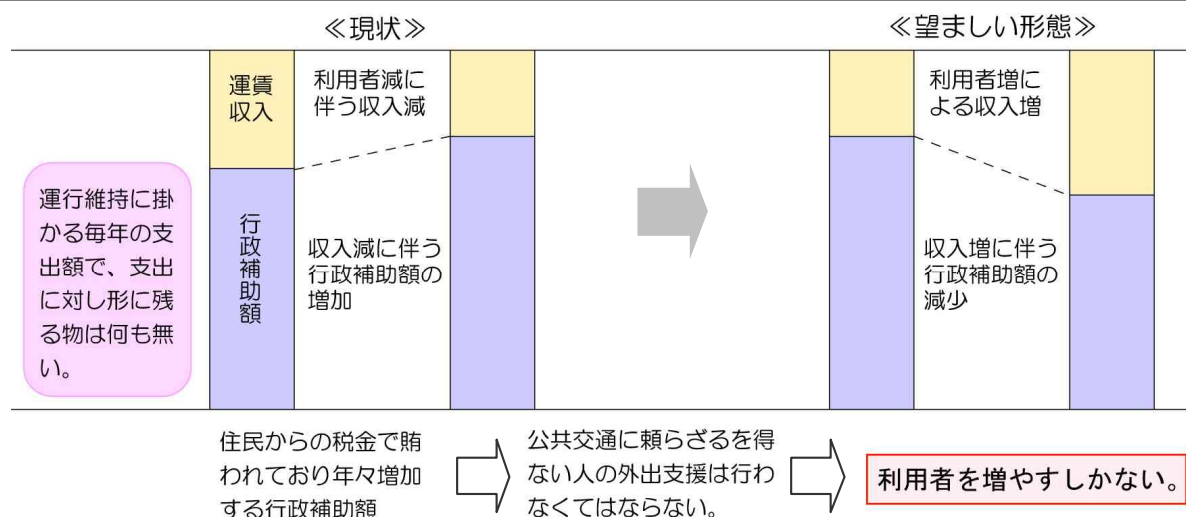


背景 2 . 年々減少するバス利用者数と増加する行政補助額



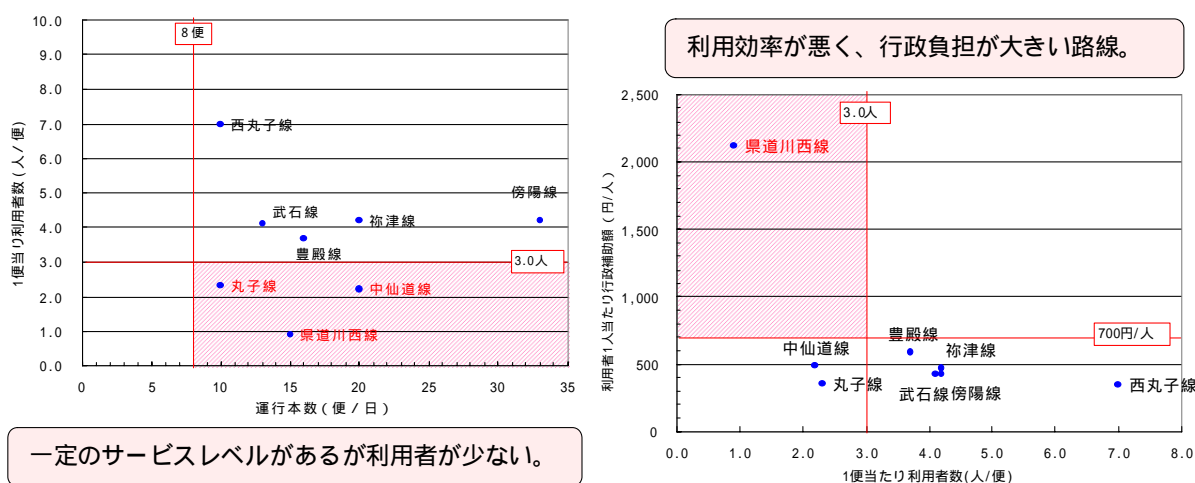
(2) 乗って残すための基準作成のための配慮事項

・公共交通を維持していくためには利用者を増やすしかない



・路線に大きな差がある利用状況

一定のサービスレベルがあるにも関わらず、利用者が少なく行政負担も大きい路線の実態。



地域で利用促進策を実施し、路線別に対応する必要がある。 → 路線別評価指標設定の必要性

上田市の公共交通の利用者は減少の一途を辿っているのが現状である。今後も人口の減少や自動車への依存の増加によりバスの需要は減少していくものと思われる。しかし、その一方でバス利用の主な利用層である高齢者は増加傾向であり、免許を持たない学生や高齢者の重要な生活の足となっているのが現在の公共交通の姿である。

利用者数が減少している現在、一部の公共交通は行政の補助により成り立っており、それは市民の負担増を意味する。この流れを止めるためには利用者数を増やすしかない。

公共交通は路線により利用形態が異なる。それは人口などの社会的要因のほか地域ぐるみの取組みも影響する。地域の公共交通を乗って残していくためには地域独自の利用促進策を実施し、路線別に対応する必要がある。

(4) 基準線の考え方

「乗って残す」ための見直し基準を前項で定め、見直し基準については4つの基準を設けた。4つの基準は「路線評価表」より整理した「基礎指標」と「単位当り指標」を基準線とし、それらを組み合わせ「基準」としている。ここでは、その「基準線」の考え方についてまとめた。

項目	基準	現状	考え方
対前年比利用者数	減少	平成20年度利用者数は19年度利用者数と比較し23,762人減少	基準は「前年と比較し減少」
対前年比利用者数減少率	-15%以上	-14.4% (平成20年度基準)	平成20年度前年比減少率を目安とし、基準は「前年と比較し減少率-15%以上」
年間利用者数	18,000人以下	1路線当り 17,674人/年 (平成20年度基準)	基準は平成20年度1路線当り年間利用者数平均値を目安とし18,000人以下(百の位切り上げ)
運行本数	1路線当り 8便/日以上	1路線当り 17便/日 (平成20年度基準)	午前・午後に目的地への往復が出来るサービスレベルを1日4往復(8便)とし、それを基準とする。
1便当り利用者数	3.0人/便未満	3.6便/日 (平成20年度基準)	基準は平成20年度運行本数路線当り平均値の90% (小数点第1位以下切り捨て)
潜在需要(沿線人口)	10,000人以上	9,500人 (平成17年度国勢調査人口メッシュ)	基準は1路線当り平均値の10%増し(千の位以下切り捨て) 沿線人口算出方法 平成17年国勢調査の500m四方人口メッシュを用い、バス利用圏域内の人口を計測した数値である。(バス利用圏域=バス停半径500m以内)
利用者1人当り行政補助額	700円以上	1世帯当りの平均支払い意思額2,100円 利用者1人当り行政補助額平均値は652円 (平成20年度基準)	1世帯当り3人とすると1人当り平均支払額は700円 平均支払意思額は平成17年度住民意向調査結果より 平成20年度平均値が652円であることから基準を700円に設定。

各数値は特に記述が無い限り上田市作成の「上田市のバスの状況」による

上表の現状数値は上田市の廃止路線代替バス8路線を対象とし計算

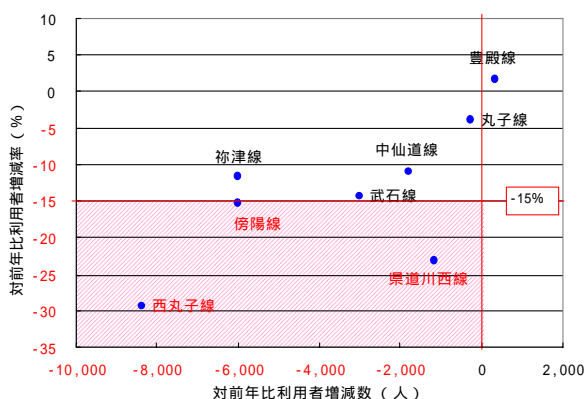
廃止路線代替バス8路線とは西丸子線、豊殿線、傍陽線、祢津線、県道川西線、武石線、丸子線、中仙道線

(5) 要検討路線の抽出

【基準1】 利用促進策を講じているのに、利用者の減少が著しい路線

対前年比利用者減少率15%以上かつ対前年比利用者数が減少

上田市ではバス路線マップの配布や地元自治組織での「バス運行」についての説明会等を実施し、バスの利用を促してきた。しかし、バス利用者の減少は止まらない。そこで、対前年比利用者減少率15%以上かつ利用者数が前年比で減少している路線を抽出路線とする。

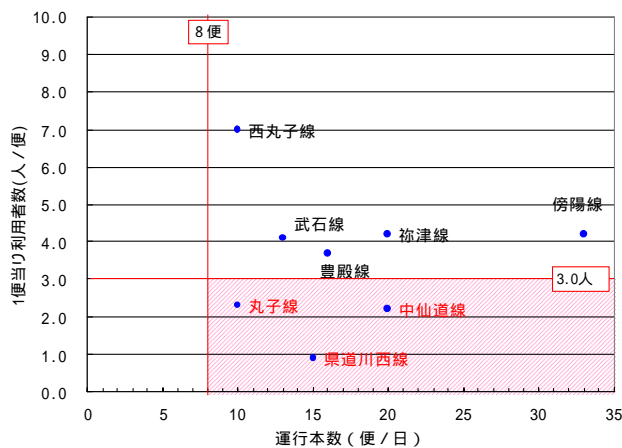


抽出路線：県道川西線、西丸子線、傍陽線

【基準2】 一定の運行本数が確保されているにも関わらず利用者が少ない路線

一定の運行本数8便/日以上かつ1便当たり利用者数3.0人/便未満

一定の運行本数が確保されてはいるが、1便当たり利用者数が少ない路線は、サービス向上によって利用者数が増加する可能性が低く、現状でもサービス過剰の可能性のある路線である。

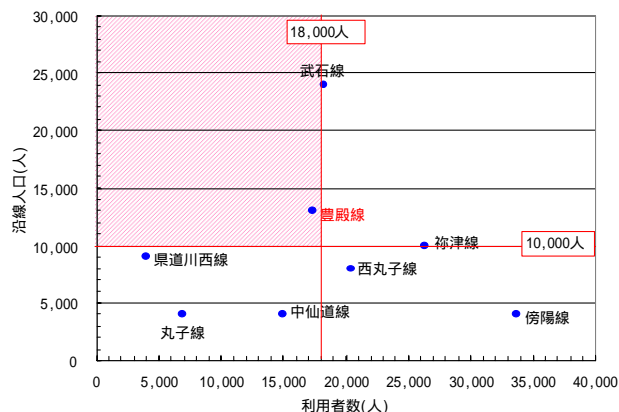


抽出路線：県道川西線、中仙道線、丸子線

【基準3】 一定の潜在需要があるにも関わらず利用者が少ない路線

一定の潜在需要10,000人以上かつ年間利用者数18,000人以下

本来運行のサービスレベルが一定であり、利用機会が同じであれば、人口集積の大きい地域は利用者が多いはずであるが、必ずしもそういった結果になっておらず、沿線人口が多いにも関わらず年間利用者数が少ない路線は抽出路線とする。

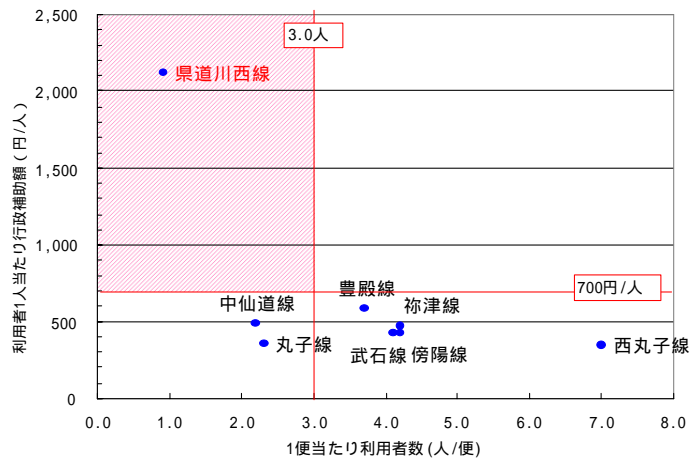


抽出路線：豊殿線

【基準4】 利用効率が低く行政補助が大きい路線

1便当り利用者数3.0人未満かつ利用者1人当り行政補助額700円

運行の経済性(費用対効果)に着目し、利用効率(1便当り利用者数)が低く、行政補助(利用者1人当り行政補助額)の大きい路線を抽出路線とする。



抽出路線：県道川西線

基準	要検討路線
基準1 利用促進策を講じているのに、利用者の減少が著しい路線	県道川西線、西丸子線、傍陽線
基準2 一定の運行本数が確保されているにもかかわらず利用者が少ない路線	県道川西線、中仙道線、丸子線
基準3 一定の潜在需要があるにもかかわらず利用者が少ない路線	豊殿線
基準4 利用効率が低く行政補助が大きい路線	県道川西線

上記基準を3つ以上該当する要検討路線は「県道川西線」

(6) 路線別評価表

種別	路線名	交通事業者	年次	便数	利用者数 (人)	利用者数		行政 負担額 (千円)	負担額 増減率(%)	1便当り 利用者数 (人/便)	1便当り 負担額(円/便)	利用者1人当り 負担額(円/人)	市民1人当り 負担額(円/人)	沿線人口 (人)	沿線人口 1人当り 年間利用回数 (回)
						対前年利用者 増減数(人)	対前年利用者 増減率(%)								
廃止 路線 代替 バス	西丸子線	上田バス	H14	10	19,719			10,580		6.8	3,611	537	64	8,000	2.5
			H15		21,458	1,739	8.8	10,236	-3.3	7.3	3,494	477	62		2.7
			H16		21,789	331	1.5	10,363	1.2	7.4	3,537	476	62		2.7
			H17		21,805	16	0.1	6,456	-37.7	7.4	2,203	296	39		2.7
			H18		23,924	2,119	9.7	5,764	-10.7	8.5	2,037	241	35		3.0
			H19		28,775	4,851	20.3	4,852	-15.8	9.7	1,639	169	30		3.6
			H20		20,380	-8,395	-29.2	7,009	44.5	7.0	2,368	344	43		2.5
	豊殿線	上田バス	H14	16	27,569			9,224		5.8	1,948	335	55	13,000	2.1
			H15		24,027	-3,542	-12.8	10,054	9.0	5.1	2,123	418	61		1.8
			H16		23,853	-174	-0.7	9,824	-2.3	5.0	2,074	412	59		1.8
			H17		21,382	-2,471	-10.4	9,104	-7.3	4.5	1,922	426	56		1.6
			H18		16,772	-4,610	-21.6	9,532	4.7	3.6	2,056	568	58		1.3
			H19		16,965	193	1.2	9,493	-0.4	3.7	2,048	560	59		1.3
			H20		17,288	323	1.9	10,142	6.8	3.7	2,188	587	63		1.3
	傍陽線	上田バス	H14	33	52,548			12,187		6.4	1,564	232	73	4,000	13.1
			H15		50,427	-2,121	-4.0	12,433	2.0	6.1	1,593	247	75		12.6
			H16		40,945	-9,482	-18.8	12,845	3.3	4.9	1,643	314	77		10.2
			H17		38,645	-2,300	-5.6	12,775	-0.5	4.9	1,634	331	78		9.7
			H18		39,698	1,053	2.7	11,690	-8.5	4.9	1,504	294	72		9.9
			H19		39,643	-55	-0.1	11,924	2.0	4.9	1,953	301	73		9.9
			H20		33,625	-6,018	-15.2	14,239	19.4	4.2	2,196	423	88		8.4
	祢津線	千曲バス	H14	20	86,980			1,591		11.9	242	18	10	10,000	8.7
			H15		67,172	-19,808	-22.8	6,721	322.4	9.2	1,021	100	40		6.7
			H16		61,488	-5,684	-8.5	7,354	9.4	9.3	1,118	120	44		6.1
			H17		57,818	-3,670	-6.0	8,747	18.9	8.8	1,329	151	53		5.8
			H18		28,627	-29,191	-50.5	9,910	13.3	4.4	1,538	346	61		2.9
			H19		29,739	1,112	3.9	9,951	0.4	4.5	1,508	335	61		3.0
			H20		26,309	-3,430	-11.5	12,298	23.6	4.0	1,863	467	76		2.6
	県道川西線	千曲バス	H14	15	22,639			4,188		5.2	943	185	25	9,000	2.5
			H15		17,876	-4,763	-21.0	5,039	20.3	4.1	1,135	282	30		2.0
			H16		16,855	-1,021	-5.7	5,116	1.5	3.8	1,152	304	31		1.9
			H17		16,378	-477	-2.8	5,359	4.7	3.7	1,207	327	33		1.8
			H18		4,920	-11,458	-70.0	6,523	21.7	1.1	1,484	1326	40		0.5
			H19		5,061	141	2.9	7,016	7.6	1.1	1,591	1386	43		0.6
			H20		3,898	-1,163	-23.0	8,277	18.0	0.9	1,877	2123	51		0.4
	武石線	千曲バス	H14	H18までは 15便、H19 からは13 便	59,103			19,600		7.2	2,391	332	118	24,000	2.5
			H15		54,935	-4,168	-7.1	21,194	8.1	6.7	2,585	386	128		2.3
			H16		43,728	-11,207	-20.4	11,078	-47.7	5.3	1,351	253	67		1.8
			H17		40,734	-2,994	-6.8	12,852	16.0	5.0	1,568	316	79		1.7
			H18		25,694	-15,040	-36.9	5,521	-57.0	5.3	1,144	215	34		1.1
			H19		21,202	-4,492	-17.5	7,174	29.9	4.8	1,635	338	44		0.9
			H20		18,188	-3,014	-14.2	7,696	7.3	4.1	1,754	423	48		0.8
丸子線	東信観光 バス	H14	10	5,332			2,300		1.8	793	431	14	4,000	1.3	
		H15		5,337	5	0.1	2,328	1.2	1.8	803	436	14		1.3	
		H16		5,324	-13	-0.2	2,397	3.0	1.8	827	450	14		1.3	
		H17		4,963	-361	-6.8	2,515	4.9	1.7	867	507	15		1.2	
		H18		4,725	-238	-4.8	2,240	-10.9	1.6	772	474	14		1.2	
		H19		7,108	2,383	50.4	2,235	-0.2	2.4	755	314	14		1.8	
		H20		6,839	-269	-3.8	2,445	9.4	2.3	826	358	15		1.7	
中仙道線	東信観光 バス	H14	20	21,723			5,120		4.7	764	236	31	4,000	5.4	
		H15		20,046	-1,677	-7.7	5,452	6.5	3.0	814	272	33		5.0	
		H16		18,512	-1,534	-7.7	5,625	3.2	2.7	840	304	34		4.6	
		H17		17,504	-1,008	-5.4	5,911	5.1	2.7	882	338	36		4.4	
		H18		16,462	-1,042	-6.0	7,043	19.2	2.5	1,051	428	43		4.1	
		H19		16,658	196	1.2	7,409	5.2	2.5	1,108	445	46		4.2	
		H20		14,862	-1,796	-10.8	7,296	-1.5	2.2	1,091	491	45		3.7	

3.平成 22 年度実施事業について

本章では平成 22 年度に実施する事業について概要を述べる。なお、「丸子地域循環バス」「上田市街地循環バス」の実証運行事業は第 2 章で見直し策を検討しており、本章では記載しない。

3 - 1.事業概要

下記に平成 22 年度実施する事業について、「事業名」「事業内容」「実施主体」「実施時期」を一覧表にまとめ記す。

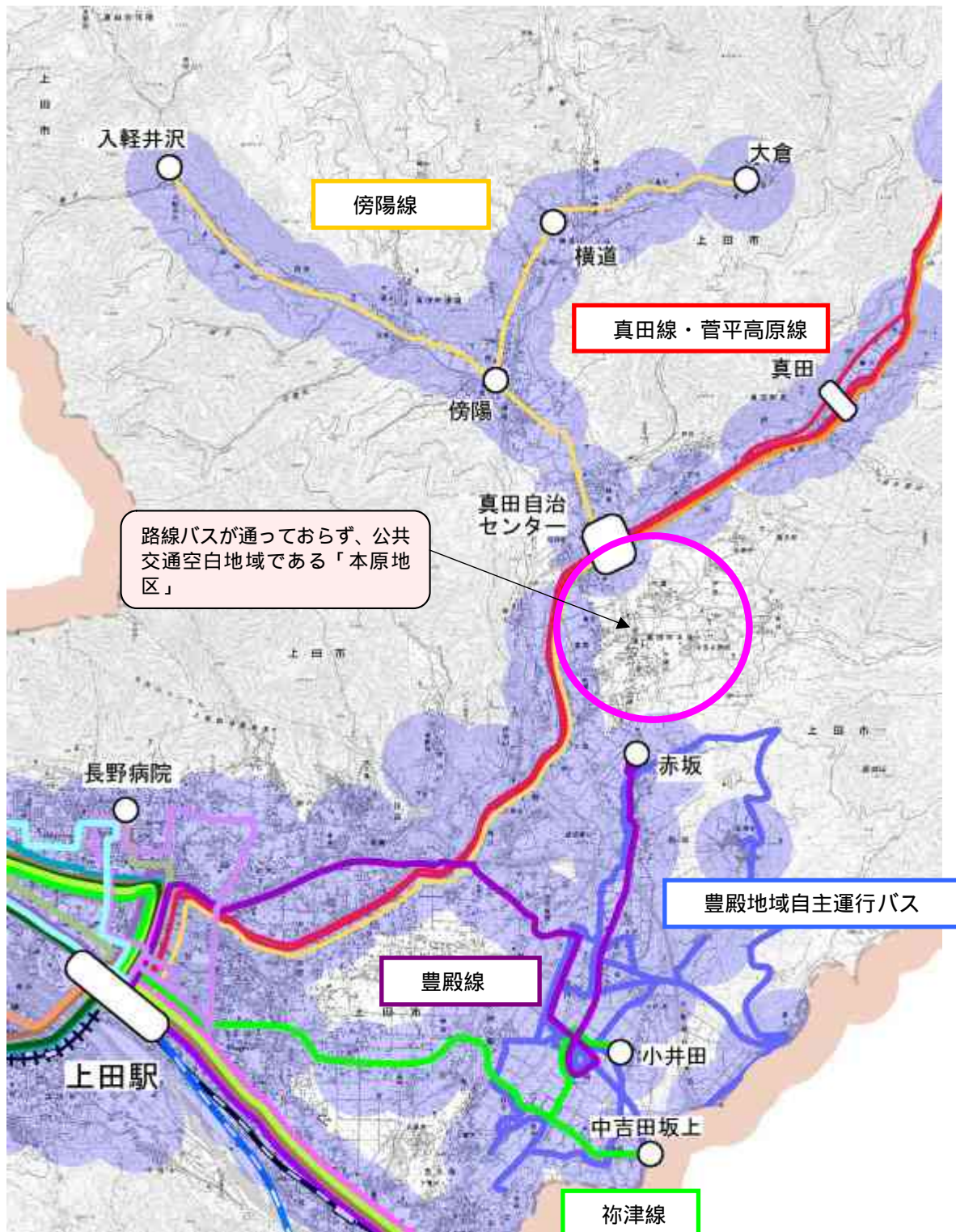
事業	事業内容	実施主体	備考
事業 1 . 上田市街地循環バスの実証運行	平成21年度に策定された見直し策をもとに実証運行を行う。	法定協議会 千曲バス(株) 上田バス(株)	国庫補助事業 継続事業
事業 2 . 丸子地域循環バスの実証運行	平成22年1月4日より開始した新運行で実証運行。	法定協議会 千曲バス(株)	国庫補助事業 継続事業
事業 3 . 傍陽線本原地区迂回実証運行	本年度地元自治組織と協議を重ね、公共交通空白地域であった「本原地区」へバス路線を設けることとした。バス路線は現在運行中の「傍陽線」の迂回で対応とする。 平成22年度は、当路線の実証運行を実施する。	法定協議会 上田バス(株)	国庫補助事業 新規実証運行
事業 4 . オレンジバスの運行ルート変更	新しい道路の開通や改修により、公共交通空白地域をカバーする運行が可能となったことによるオレンジバスの運行ルート変更事業。	上田市	平成22年度より 新ルートで運行 開始
事業 5 . 運行改正に伴う周知 P R 策	上田市街地循環バス、丸子地域循環バス、傍陽線は来年度新たな運行へ改正する予定であり、それらの周知 P R 策を行う。 パンフレットによる周知 P R 現在配布済み時刻表・路線図の更新 地元自治組織への説明会の開催	法定協議会 上田市 地元自治組織	実証運行開始前 に実施

3 - 2.傍陽線本原地区迂回実証運行

(1) 本原地区の現状

概要

本原地区には傍陽線、真田線、菅平高原線が運行されているが、国道を通るルートで運行されており、国道より東側の集落は公共交通空白地域である。



(2) 傍陽線改正案

概要

本原地区の公共交通空白地域を解消するため、傍陽線を本原地区へ迂回運行する。

迂回本数

傍陽線として運行する平日 24 便、土曜 22 便を全て本原地区へ迂回運行する。

沿線サービスレベルへの影響

迂回によりサービスレベル低下が懸念される「下原～真田自治センター入口」は傍陽線の外、真田線 17 便、菅平高原線 25 便（通常平日）の運行があるため、大きなサービス低下とはならない。

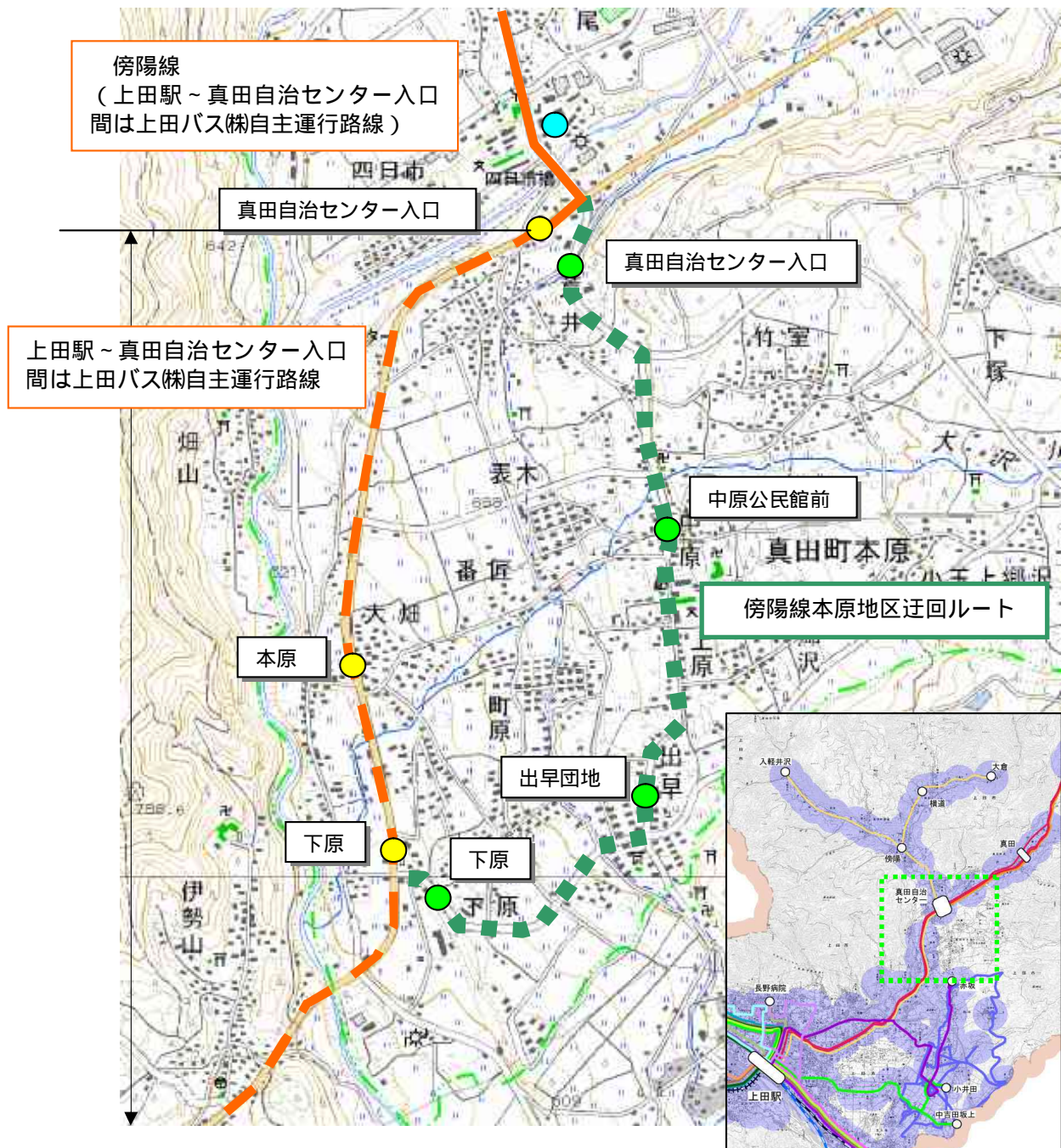
運賃

現在「真田自治センター入口～下原」は 100 円である。迂回区間も距離は異なるが、区間は同一であるため迂回区間 = 100 円区間とする。

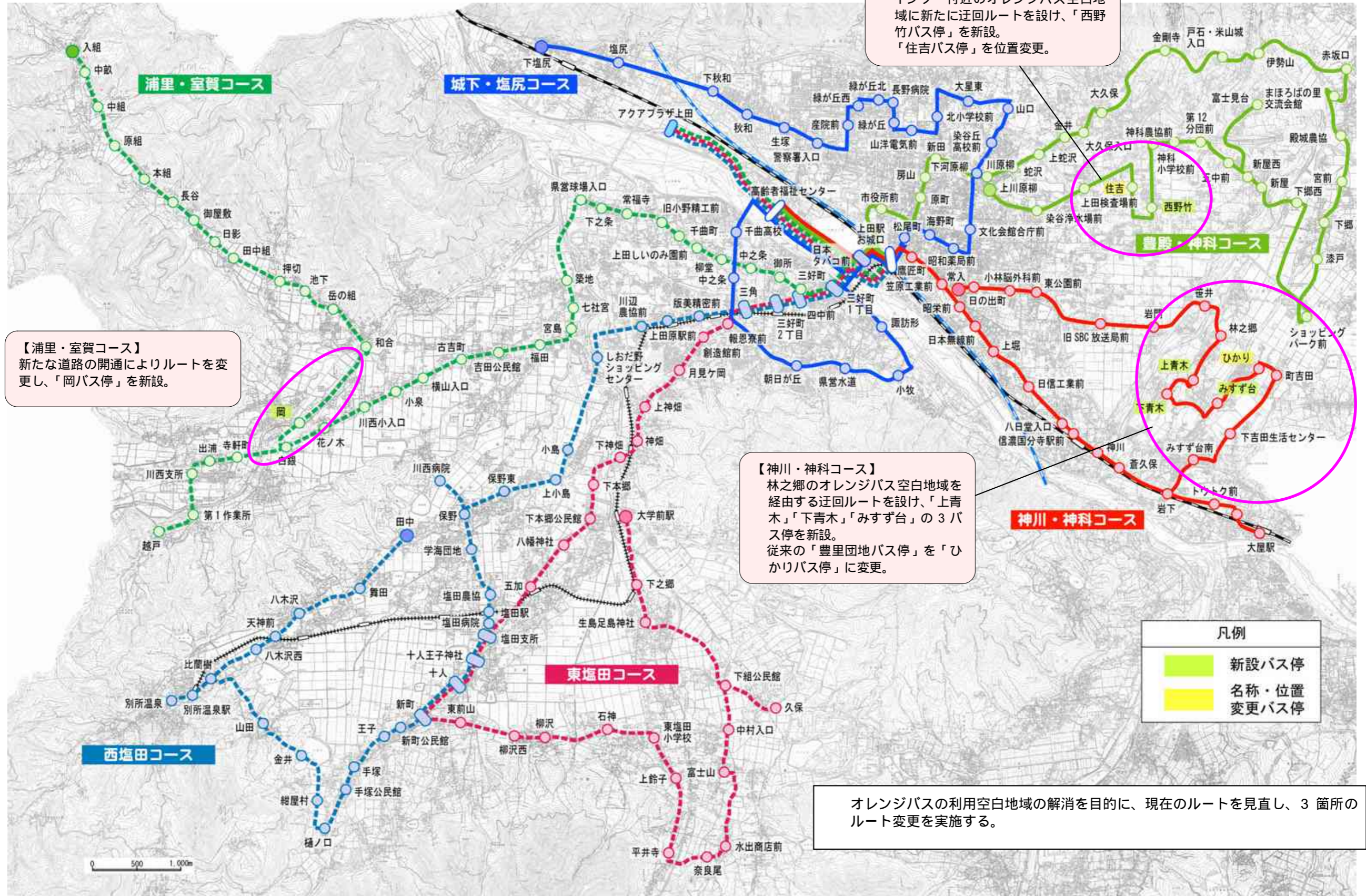
バス停

バス停は 4 つ設ける。位置は下図を参照。

路線図



3-3. オレンジバスの運行ルート変更

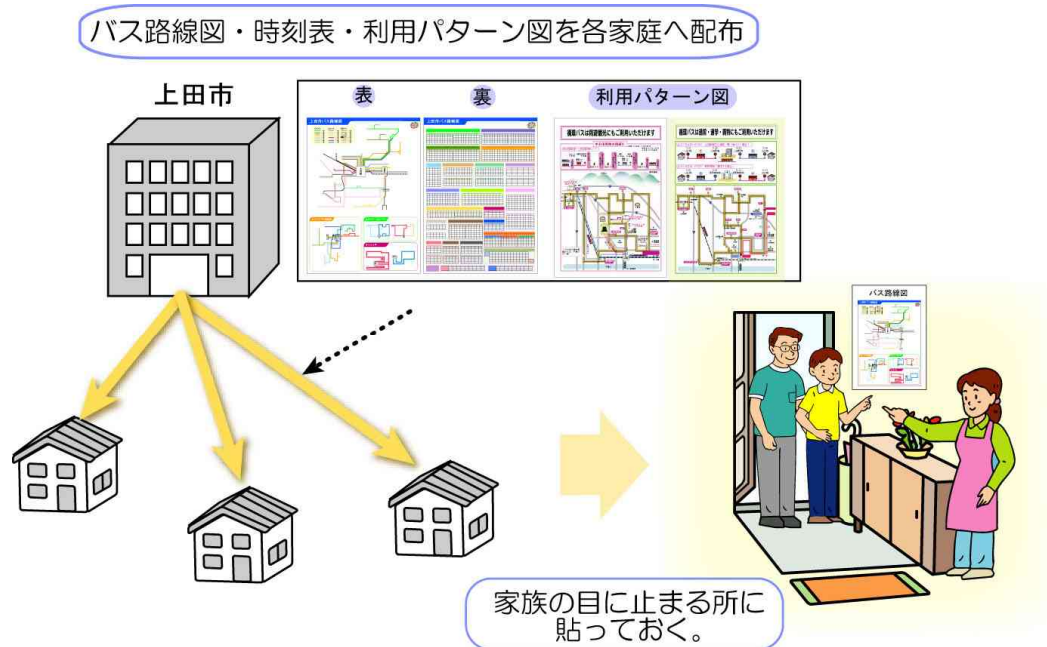


3-4. 運行改正に伴う周知PR策

平成22年度は「上田市街地循環バス」「丸子地域循環バス」「傍陽線迂回運行」の新たな運行が実施される。そこで、市民に周知PRを行いより利用してもらえる環境を整えるため、下記の施策を実施する。

(1) パンフレットによる周知PR

実証運行開始当初も実施してきた各循環バスのパンフレットを改正にあわせ更新し、各世帯に広報を通じて配布する。(丸子地域循環バスは配布済み)
上田市街地循環バスの見直しに合わせ、昨年度より検討してきた利用目的別のパンフレットを作成し、各世帯また人の集まる施設に常備し配布する。



(2) 地元住民への説明会実施

新たに改正される循環バスと傍陽線に加え、今年度「2-8.バスを乗って残していくための目標と見直し基準(案)」が策定される。公共交通についての関心度アップや利用促進のために地元住民への説明会を継続して実施する。

